

Annual Report of

YAMANASHI
INDUSTRIAL
TECHNOLOGY
CENTER



山梨県産業技術センター 年報

令和3年度

2022

山梨県産業技術センター



はじめに

オープンイノベーションを旗印に、令和2年度からスタートした当センターの中期運営計画は、令和4年度が最終年度、仕上げの年となります。この節目の年に、令和3年度から建設を進めてきました「イノベーション支援棟」がオープンし、まさにオープンイノベーションのコアとして稼働を始めます。この新棟は、高度技術開発棟がリニア中央新幹線の用地にかかることに伴い、移転新築したもので、設備装置等は基本的に従前の高度棟のものを引き継ぎますが、新たな機能として、当センターで開発した製造現場のIoT化を図るツールである「yisPIP（イスピブ）」システムを実装し、製造工程の見える化などを実体験していただくことで、県内ものづくり企業のIoT化、DX化につなげていきたいと考えています。さらに、開所後も継続して機能強化に取り組んでいく予定ですので、これまでの高度棟にも増して、イノベーション支援棟を積極的にご活用くださいますようお願いいたします。

さて、本年報は、令和3年度における山梨県産業技術センターの業務成果をまとめたものです。センターをより一層ご理解、ご活用いただくための基礎資料として、ご高覧いただけると幸いに存じます。

研究開発では、新しいブレンド白ワインに関する研究やバレル研磨機の加工能力の向上、デジタルジャカード技術による色彩表現など、地場産業に関するテーマや、機能性素材開発、金属加工技術に関するテーマ、IoT、AI、5G、燃料電池等の成長産業に関するテーマなど、社会情勢や技術動向を見据え、各業界の要望に即した多様な研究に取り組んで参りました。

人材育成では、コロナ禍でも安心して受講いただけるようWeb会議システムの整備を進め、現場ニーズに合わせた種々の講習会・研修会を、オンラインと対面を併用して開催し、中小企業の発展を担う人材の育成に努めているところです。

また、国の地方創生関係の交付金を活用し、県内企業が開発・製造する電子機器の信頼性と品質保証体制の向上を図る「IoT製品関連分野進出支援事業」や、日本酒の品質強化を図る「日本酒等品質強化支援事業」、県内中小企業が外部との連携により設計から製造までを行うことによって、収益向上や価値創出を実現する「オープンイノベーション推進事業」などにも取り組んで参りました。

コロナ禍のなか、デジタル・トランスフォーメーションやカーボン・ニュートラルといった社会経済の変化が一層加速するとともに、原材料・エネルギー価格の上昇、世界規模での物流の混乱など、企業活動にとっては幾重もの逆風が吹いています。しかし、このように厳しいときだからこそ、普遍的な本質や価値を大切にしながら、環境や状況の変化に応じて柔軟に、新しい事業分野やビジネスモデルにチャレンジすることがより一層重要になっているのではないかと考えています。

産業技術センターとしましても、中期運営計画に掲げた、県内ものづくり企業の「高付加価値製品づくりとODM型企业への転換（下請け脱却）」の実現に向けて、県内企業のお役に立てるよう努めて参りますので、皆様方にはこれまで以上に、産業技術センターを貪欲かつ気軽にご活用頂きますよう重ねてお願いいたします。

令和4年7月吉日

山梨県産業技術センター

所長 内藤 裕利

目 次

山梨県産業技術センターの概要.....	1
1. 沿革.....	1
2. 土地・建物.....	1
3. 組織と業務（令和4年3月31日現在）.....	3
4. 職員名簿（令和4年3月31日現在）.....	4
5. 職員配置（令和4年3月31日現在）.....	5
6. 令和3年度決算.....	6
7. 新設機器・設備.....	7
8. 山梨県産業技術センター 中期運営計画.....	9
9. 令和3年度業務体系.....	11
10. 令和3年度業務実績一覧表.....	14
運営.....	15
1. 運営会議.....	15
(1) 会議の概要.....	15
(2) 構成員（委員）名簿.....	15
2. 試験・研究課題等の外部評価会議.....	16
(1) 評価に対する考え方.....	16
(2) 評価対象課題.....	16
(3) 評価結果.....	17
(4) 委員名簿.....	17
3. 業界との意見交換.....	18
4. 山梨県オープンイノベーション推進ネットワーク会議.....	18
(1) 会議の概要.....	18
(2) 名簿.....	18
技術支援業務.....	20
1. 技術相談、現地技術支援の担当別実績.....	20
2. 中小企業重点支援事業.....	20
(1) テーマ一覧.....	20
(2) 担当別実績.....	20
3. 客員研究員による支援.....	21
4. 依頼試験・設備利用等.....	22
(1) 実績一覧.....	22
(2) 依頼試験の内訳.....	22
(3) 依頼加工等の内訳.....	22

(4) 設備使用の内訳	22
(5) 試験成績証明書交付の内訳	22
(6) 図案等調整の内訳	22
(7) その他（酒母）	23
(8) 設備利用研修会	23
(9) 設備利用研修	23
5. 研究会への支援	24
6. やまなし地場産品ブランド化支援事業	25
(1) ブランド力向上サポートプロジェクトの実施	25
(2) 外部講師による勉強会の開催	25
(3) 交流・マッチングプログラム	26
研究業務	27
1. 産学官連携研究の促進	27
(1) 研究の形態	27
(2) 研究テーマ	27
2. 産業財産権の取得状況	33
(1) 産業財産権（県単独）	33
(2) 産業財産権（共同出願）	34
(3) 産業財産権（国際特許）	35
(4) 産業財産権出願中（県単独）	35
(5) 産業財産権出願中（共同出願）	35
(6) 産業財産権出願中（国際特許）	36
3. 課題対応受託研究	37
4. 業績発表	37
(1) 口頭発表（学会等）	37
(2) 口頭発表（その他）	38
(3) ポスター発表（学会等）	39
(4) 研究論文掲載	39
(5) その他記事掲載	40
人材育成業務	41
1. 出前技術講座	41
(1) 講座一覧	41
(2) 担当別実績	44
2. ものづくり人材育成研修	44
(1) 通年	44
(2) 担当別実績	45
3. IoT 製品関連分野進出支援事業	45

4. 日本酒等品質強化支援事業	46
5. 講習会・研修会	47
(1) 講座一覧	47
(2) 担当別実績	52
6. 技術者研修	52
(1) テーマ一覧	52
(2) 担当別実績	52
7. インターンシップ研修	52
8. その他	52
情報提供業務	53
1. 研究成果発表	53
2. 刊行物の発行	53
3. センター利用の手引きおよびメールマガジンの発行	53
4. その他	54
技術交流	55
1. 研究機関連絡会議	55
2. 学会等の会議	57
3. 職員派遣	58
4. その他会議	63
報道関係	68
職員の資質向上	69
1. 派遣研修	69
2. その他研修	71
学会・協会等からの表彰	75
加入学会・協会等	78
付録	79
1. 組織と業務（令和4年4月1日現在）	79
2. 職員名簿（令和4年4月1日現在）	80
3. 職員配置（令和4年4月1日現在）	81
4. 令和4年度予算	82

山梨県産業技術センターの概要

1. 沿革

明治38年12月	山梨県工業試験場開設
大正12年 4月	山梨県工業試験場上野原分場開設
昭和 4年12月	山梨県醸造研究所開設
昭和10年 4月	山梨県工業試験場吉田分場開設
昭和14年11月	山梨県工業試験場吉田分場を本場とし、旧本場は谷村試験工場に変更
昭和25年12月	山梨県繊維工業試験場開設（条例改正による山梨県工業試験場の名称変更）
昭和26年 8月	山梨県立研磨工業指導所開設
昭和28年 5月	山梨県繊維工業試験場大月分場開設
昭和30年 7月	山梨県立メリヤス工業指導所開設
昭和42年 9月	山梨県機械金属工業指導所開設
昭和43年 4月	山梨県食品工業指導所開設（山梨県醸造研究所の整備による名称変更）
昭和43年 4月	山梨県繊維工業試験場上野原、大月分場廃止
昭和43年 4月	山梨県木工指導所開設
昭和46年 4月	山梨県繊維工業試験場新庁舎開設
昭和49年10月	ワインセンターを山梨県食品工業指導所に併設
昭和61年 4月	山梨県工業技術センター開設（工業関係研究機関再編整備による5所統合）
昭和61年 4月	山梨県富士工業技術センター開設 （工業関係研究機関再編整備による山梨県繊維工業試験場の名称変更）
平成 4年 4月	山梨県工業技術センター新庁舎開設
平成12年 4月	山梨県高度技術開発センター新庁舎開設
平成29年 4月	山梨県産業技術センター開設（両センターの統合）
平成30年 4月	富士技術支援センター研究開発支援棟開設

2. 土地・建物

[甲府技術支援センター]

所在地 山梨県甲府市大津町2094

敷地面積	16,893 m ²
建物延面積	14,375 m ²
研究管理棟（鉄骨鉄筋コンクリート造り6階建）	7,008 m ²
デザイン棟（鉄筋コンクリート造り2階建）	2,243 m ²
実験棟（鉄骨造り2階建）	3,189 m ²
高度技術開発センター（鉄骨造り2階建）	1,599 m ²
附属施設	336 m ²

[ワインセンター]

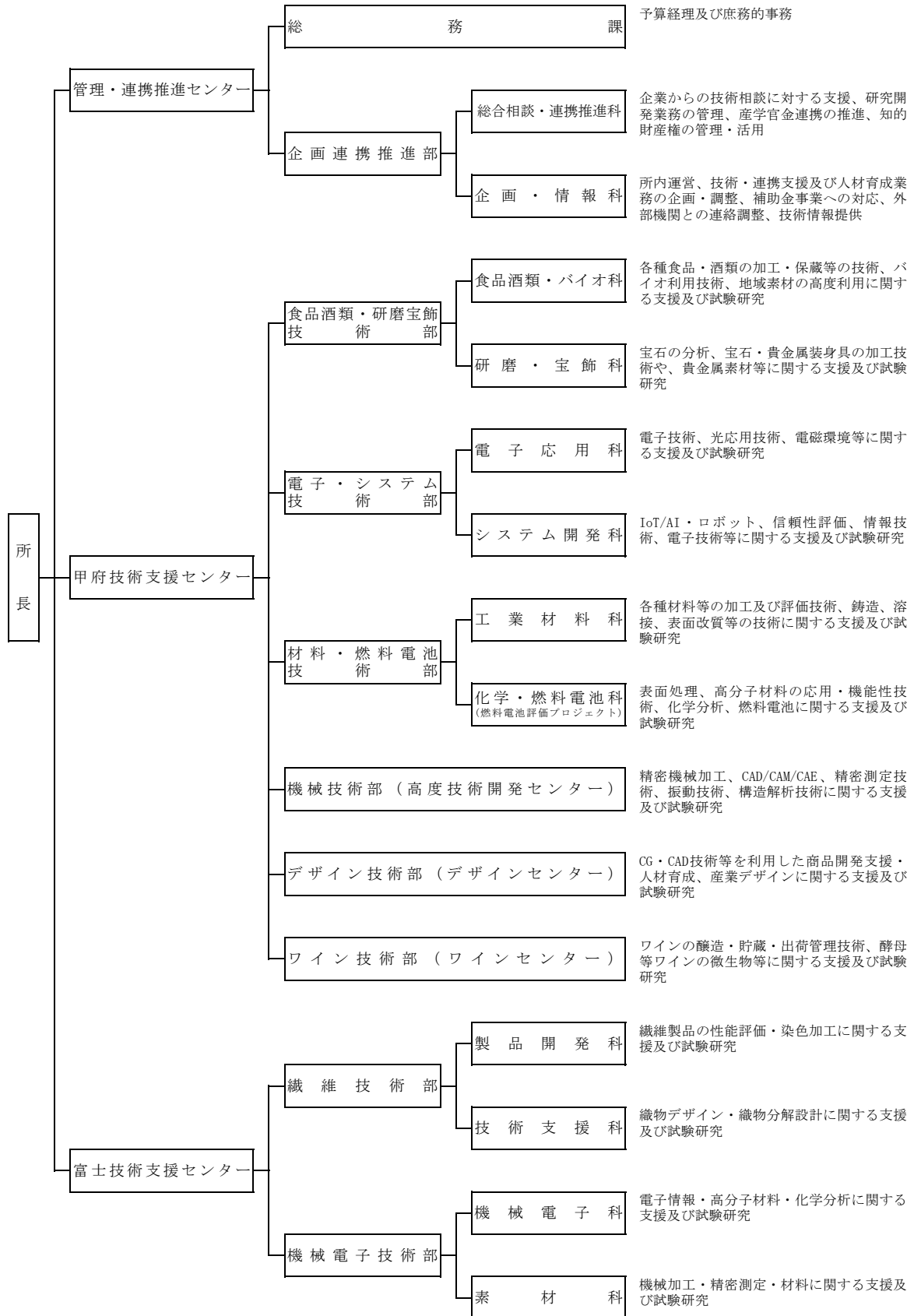
所在地	山梨県甲州市勝沼町勝沼2517	
敷地面積		4,280 m ²
建物延面積		914 m ²
ワイン試験棟（鉄筋コンクリート平屋・地下1階）		868 m ²
付属施設		46 m ²

[富士技術支援センター]

所在地	山梨県富士吉田市下吉田6-16-2	
敷地面積		10,117 m ²
建物延面積		3,583 m ²
管理棟（鉄筋コンクリート造り2階建）		1,177 m ²
試験棟（鉄骨造り平屋）		1,339 m ²
開放試験棟（鉄骨造り1階建）		222 m ²
研究開発支援棟（鉄骨造り平屋）		598 m ²
付属施設		247 m ²

3. 組織と業務

(令和4年3月31日現在)



4. 職員名簿

(令和4年3月31日現在)

所長	初鹿野 晋一	[研磨・宝飾科]		デザイン技術部	
管理・連携推進センター		主任研究員	宮川 和博	部長	金丸 勝彦
センター長(兼2)	清野 浩	専門員	佐野 照雄	主任研究員	串田 賢一
特別研究員	岩間 貴司	研究員	佐藤 貴裕	主任研究員	鈴木 文晃
研究管理幹	高尾 清利	会計年度任用職員	山本 季彦	研究員	佐藤 博紀
研究管理幹(兼1)	河西 伸一	会計年度任用職員	鶴田 裕太	会計年度任用職員	数野 真裕美
特別職非常勤	大丸 明正	電子・システム技術部		会計年度任用職員	岡 治美
総務課		部長	河野 裕	ワイン技術部	
課長(事務取扱)	清野 浩	[電子応用科]		主幹研究員・部長	恩田 匠
副主査	阿部 純	主任研究員	清水 章良	主任研究員	木村 英生
主幹(兼1)	武藤 純義	研究員	中村 卓	研究員	佐藤 憲亮
専門員	若林 貴義	会計年度任用職員	和光 順子	会計年度任用職員	三科 浩仁
主任	志村 和哉	[システム開発科]		会計年度任用職員	窪田 守
会計年度任用職員	流石 由香理	主任研究員	布施 嘉裕	富士技術支援センター	
会計年度任用職員	井上 清美	専門員	阿部 正人	センター長	柏木 隆伸
会計年度任用職員	中込 真美	研究員	永田 靖貴	副センター長	吉村 千秋
企画連携推進部		研究員	中込 広幸	繊維技術部	
主幹研究員・部長	山田 博之	材料・燃料電池技術部		主幹研究員・部長	渡辺 誠
[総合相談・連携推進科]		主幹研究員・部長	八代 浩二	[製品開発科]	
主任研究員	三井 由香里	[工業材料科]		主任研究員	望月 威夫
主任研究員(兼2)	望月 威夫	主任研究員	阿部 治	主任研究員	上垣 良信
研究員(兼2)	林 善永	研究員	鈴木 大介	技師	宮澤 航平
[企画・情報科]		研究員	石田 正文	専門員(兼2)	若林 貴義
主任研究員	宮本 博永	研究員	長田 和真	会計年度任用職員	渡邊 直子
主任研究員(兼2)	望月 威夫	[化学・燃料電池科]		会計年度任用職員(兼2)	流石 由香理
主任研究員	宮川 理恵	主任研究員	三神 武文	[技術支援科]	
研究員	林 善永	主任研究員	小松 正和	主幹研究員	五十嵐 哲也
会計年度任用職員	望月 美菜	主任研究員	芦澤 里樹	主任研究員	秋本 梨恵
甲府技術支援センター		研究員	塩澤 佑一朗	会計年度任用職員	勝俣 久美
センター長	清野 浩	(燃料電池評価プロジェクト)		会計年度任用職員	高山 美和
副センター長	萩原 茂	研究員	小林 誉	機械電子技術部	
食品酒類・研磨宝飾技術部		会計年度任用職員	加賀 爪広	主幹研究員・部長	中村 聖名
主幹研究員・部長	有泉 直子	会計年度任用職員	穴水 弘一	[機械電子科]	
[食品酒類・バイオ科]		会計年度任用職員	平賀 庸子	主幹研究員	勝又 信行
主任研究員	長沼 孝多	機械技術部		主任研究員	尾形 正岐
主任研究員	尾形 美貴	主幹研究員・部長	佐野 正明	研究員	古屋 雅章
主任研究員	橋本 卓也	主任研究員	石黒 輝雄	[素材料]	
研究員	小嶋 匡人	主任研究員	西村 通喜	主任研究員	萩原 義人
研究員	樋口 かよ	主任研究員	小松 利安	研究員	寺澤 章裕
		主任研究員	早川 亮	研究員	望月 陽介
		主任研究員	米山 陽		
		研究員	坂本 智明		
		会計年度任用職員	神澤 隆彦		

(兼1)：総合理工学研究機構と兼務

(兼2)：所内兼務

5. 職員配置

(令和4年3月31日現在)

	行政職							研究職										会計年度任用職員	合計		
	所長	センター長	課長	主任幹事	副査	専門員	主任	副センター長	特別研究員	研究管理幹事	特別職非常勤	主幹研究員・部長	部長	主幹研究員	主任研究員	専門員	研究員			技師	
山梨県産業技術センター	1																			1	
管理・連携推進センター		(1) ²							1	1(1) ¹	1									3 (2)	
総務課			(1) ²	(1) ¹	1	1	1													3	6 (2)
企画連携推進部												1									1
総合相談・連携推進科														1(1) ²		(1) ²					1 (2)
企画・情報科														2(1) ²		1			1		4 (1)
甲府技術支援センター		1						1													2
食品酒類・研磨宝飾技術部												1									1
食品酒類・バイオ科														3		2					5
研磨・宝飾科														1	1	1				2	5
電子・システム技術部												1									1
電子応用科														1		1			1		3
システム開発科														1	1	2					4
材料・燃料電池技術部												1									1
工業材料科														2		2					4
化学・燃料電池科														3		1					4
(燃料電池評価プロジェクト)																1				4	5
機械技術部												1		1	4	1			1		8
デザイン技術部													1		2	1			2		6
ワイン技術部												1			1	1			2		5
富士技術支援センター		1						1													2
繊維技術部												1									1
製品開発科						(1) ²								2			1	1(1) ²			4 (2)
技術支援科														1	1					2	4
機械電子技術部												1									1
機械電子科													1	1		1					3
素材科														1		2					3
合計	1	2	(1) ²	(1) ²	(1) ¹	1	1	1	2	1	1	1	7	2	3	26	2	17	1	19	88
		(1) ²	(1) ²	(1) ¹		(1) ²				(1) ¹					(2) ²	(1) ²		(1) ²		(9)	

(括弧)¹: 総合理工学研究機構と兼職

(括弧)²: 所内兼務

6. 令和3年度決算

(1) 歳入

(単位：円)

区分	収入済額
依頼試験等証紙収入	10,076,170
行政財産使用料	249,584
機械使用料	28,024,835
生産物売払収入	81,500
受託事業収入	3,987,504
雑入	4,535,566
計	46,955,159

(2) 歳出

(単位：円)

区分	支出済額
技術支援 ・ 機器整備((公財)JKAによる補助事業) ・ 保有機器の保守・校正・修繕 ・ やまなし地場産品ブランド化支援事業	81,286,321
研究開発 ・ 経常研究 ・ 重点化研究 ・ 総理研究 ・ 成長戦略研究 ・ 競争的資金研究 ・ 受託研究 ・ 客員研究員事業費 ・ 技術情報取得	58,306,020
人材育成 ・ ものづくり人材育成研修 ・ 講習会、研修会	2,072,166
情報提供 ・ 研究報告、年報、センターニュース、デザイン情報誌の発行	796,069
技術移転・事業化支援 ・ フォローアップ、企業ニーズ対応試作開発	1,139,806
職員職務発明特許出願費 ・ 特許等出願費、維持管理費	500,198
地方創生推進交付金事業 ・ IoT製品関連分野進出支援事業費 ・ 日本酒等品質強化支援事業 ・ オープンイノベーション推進事業	39,467,777
燃料電池評価プロジェクト推進事業	56,308,883
その他 管理費等(会計年度任用職員等人件費、庁舎管理費 等)	194,212,880
計	434,090,120

7. 新設機器・設備

(1) 甲府技術支援センター

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
競輪の補助金(JKA)	CNC 画像測定機	(株) ニコンソリューションズ NEXIV VMZ-S6555	部品や製品の寸法を高精度に測定
地方創生推進交付金	超低温恒温恒湿槽	エスベック (株) PSL-2J	高温/低温、高湿/低湿の環境を再現
地方創生推進交付金	冷熱衝撃試験器	日立グローバルライフソリューションズ (株) ES-307LHS	電子製品等への冷熱衝撃試験
地方創生推進交付金	赤外線サーモカメラ	日本アビオニクス (株) InfReC R550Pro	赤外線画像を用いた温度測定
地方創生推進交付金	液体クロマトグラフ質量分析装置	(株) 島津製作所 LCMS-8045	酒類・食品中の微量成分分析
県単独	平膜セルテストキット	アクア技研 ACF-CFSM-III	食品成分の膜分離
県単独	プログラム低温恒温器	ヤマト科学 (株) IQ822	微生物の培養
県単独	ヘッドスペースサンブラ	(株) 島津製作所 HS-20NX	酒類の香気成分分析
県単独	上皿天秤	(株) 島津製作所 TX4202N	重量測定
県単独	ニーダー	日本ニーダー (株) PK2025plus	食品生地の混合
県単独	穀類水分計	(株) ケット科学研究所 PM-640-2	穀類の水分測定
県単独	卓上型万能ミキサー	(株) 愛工舎製作所 KPL9000S	食品生地の混合
県単独	非接触固定カメラ式伸び計	(株) ティー・エス・イー NLE-1000	引張試験時の標線間の伸びの計測
県単独	熱間樹脂埋込装置	(株) ストルアス シトプレス-15	断面観察試料の作製
県単独	銅はく引きはがし試験装置	(株) エー・アンド・デイ J-PZ-200N	プリント基板と銅はくのピール試験
県単独	ふるい振とう機	ヴェーダー・サイエンティフィック (株) AS200 コントロール	粉末の分級
県単独	水蒸気爆砕装置	(有) ボン菓子機販売 超小型ボン菓子機 (手動)	水蒸気爆砕処理
県単独	ハンドヘルド型 3D スキャナ	Shining3D EinScan	形状データの取得
県単独	香気成分濃縮システム	桐山製作所 (株) AB25-I-2	ワインの香気成分分析

(2) 富士技術支援センター

区分	機器名	メーカー名・型式	用途
競輪の補助金(JKA)	精密万能材料試験機	(株) 島津製作所 AGX-100kNV	JISなどに規定された強度試験
県単独	耐熱耐圧防水温度ロガー	MadgenTech MI1HTP251X2-FP	試料の温度測定
県単独	ダイヤモンドワイヤーソー	(株) ニューメタルスエンドケミ カルスコーポレーション CS-203	ダイヤモンドを埋め込んだワイヤーを 往復運動させ試料を切断する装置
県単独	測定顕微鏡	(株) ミットヨ MF-B2010	製品の表面状態の高倍率観察や寸法測 定が可能な装置
県単独	ハンディ 3D スキャナー	Shining3D EinScan Pro HD	大小様々な幅広い製品のスキャンデー タを取得できる装置

8. 山梨県産業技術センター 中期運営計画

支援機能を強化・拡充することに加え、「オープンイノベーション^{※1}」を創出する場と機会を提供することにより、県内中小企業の高付加価値製品づくりの促進と ODM 型企业^{※2}への転換を図ることを目的に、令和2年度から令和4年度までの3年間の中期計画を策定した。

※1 オープンイノベーション：既存の組織の枠組みを超え、広く知識や技術を集結してイノベーションを起こすこと

※2 ODM 型企业：自ら製品開発・設計、提案、試作・製造までを行う企業

【産業界が直面している状況】

■世界的な潮流

- ・経済のグローバル化による生産拠点の海外流出
- ・新興国との技術、価格の競合による競争力低下
- ・第4次産業革命による産業・社会構造等の激変
- ・高付加価値化の戦い
- ・製造業から IT 企業にメインプレイヤーが移行

■地域固有の課題

- ・基幹産業である機械電子業界は、下請け形態が多数を占め、研究開発機能が脆弱
- ・従業員の確保や技術の継承に難
- ・AI/IoT を利活用した生産性向上への取り組み
- ・新事業を展開するための余剰体力、技術資源の不足

【計画の方向性とアクション】

<Action1：技術支援機能の強化>

産業構造の変革や製品の多様化に伴う企業ニーズの変化に柔軟に対応していくために、出口を見据えたソリューション機能を充実させ技術支援機能を強化する。

- ①技術支援業務の推進
- ②総合相談窓口業務の強化
- ③要素技術分野および戦略産業分野の支援
- ④重点支援事業の実施

<Action2：技術移転・事業化支援機能の強化・拡充>

成長分野進出や未来の山梨の創造につながる研究などに取り組み、その成果を技術移転することにより企業の技術力・製品開発力、さらには競争力を強化し、新たな事業展開へとつなげていく。

- ①「戦略的研究」の推進
- ②戦略的な知財の権利化・ノウハウ蓄積
- ③研究成果の普及および情報発信の推進
- ④研究成果の技術移転の推進
- ⑤「ものづくりプラットフォーム」による事業化支援
- ⑥多様な企業ニーズに応える受託研究や共同研究の推進

<Action3：イノベーションを推進する拠点作り>

他の研究機関や産業支援機関、金融機関等との連携を強化することでオープンイノベーションを推進し、企業が求める課題に迅速かつ的確に対応できる支援体制を整える。

- ①他機関との連携推進（国研、近隣都県公設試験研究機関、大学、県内産業支援機関・金融機関等）
- ②オープンイノベーションを推進する人材の育成
- ③試作創作機能の整備・強化
- ④AI/IoT・ロボット等導入支援体制の構築
- ⑤技術分野ごとに支援体制を整備・強化
- ⑥「ものづくりプラットフォーム」による事業化支援
- ⑦総合的なブランド・デザイン戦略の強化

<Action4：組織運営の最適化>

社会情勢や経済状況、変化する技術ニーズに適確に対応できる組織体制を構築する。

- ①計画的な職員の技術ポテンシャルの向上
- ②危機管理対策の推進
- ③センター運営の見える化・効率化
- ④中長期的な視野に立った戦略的な設備・機器の整備

【最終目標】

高付加価値製品づくりと ODM 型企業への転換（下請け脱却）

- ・ ODM 型企業への変革
- ・ 成長分野への参入
- ・ 新産業の創出
- ・ ブランドの創成・確立

9. 令和3年度業務体系

令和3年度は、「技術支援」「研究開発」「人材育成」「情報提供」「技術移転・事業化支援」を柱に、中小企業が抱える技術課題の解決や新技術・新製品開発の支援、次世代の産業展開に向けた支援等を実施した。

●事業の具体的な取り組み

【技術支援業務】

- 現地技術支援（企業等へ直接出向いた支援）
 - ・製造現場での技術支援
 - ・研究成果を活用した技術支援
 - ・未利用企業訪問
 - ・各種団体等の要請による職員派遣
- 技術相談・依頼試験・設備利用
 - ・依頼試験、設備利用への対応
 - ・各部及び各担当間で連携した技術支援
 - ・設備利用研修の実施
 - ・設備機器の利用促進
- 総合相談窓口の体制強化
 - ・関係機関との連携強化（連携推進センター会議等）
 - ・甲府と富士の連携強化（オンラインシステムの活用）
- 中小企業重点支援事業の実施（職員を一定期間企業に派遣しての技術支援）
 - ・研究員を派遣し、企業の直面する課題を解決
 - ・特に高度な知識、技術を要する課題等に対しては客員研究員を派遣
- 成長産業への参入促進
 - ・やまなし産業支援機構など関係機関と連携し、クリーンエネルギー、燃料電池、医療関連機器などの成長分野の事業化に取り組む企業へ技術支援を実施
- 中小企業の海外展開支援事業
 - ・規格適合性評価試験サービス
 - ・海外規格情報の閲覧サービス
 - ・専門相談員による技術相談
 - ・JETRO との連携による支援
- IoT化による生産性向上の支援
 - ・IoT、ロボットに関する研究開発に取り組み、技術やノウハウを蓄積
 - ・AI/IoT 技術導入に関する支援
- 戦略産業分野への支援
 - ・燃料電池関連技術及び医療機器関連産業分野への支援
- 地域産業の個別課題を地域内で解決する取り組み
 - ・オープンイノベーション推進の取り組み
- 公設試験研究機関との連携強化を図る中で機器整備や支援事業を実施
 - ・IoT 産業への参入支援のための機器整備
 - ・医療産業などの成長分野関連技術の支援
- やまなし地場産品ブランド化支援事業

- ・新商品の企画や開発に関する総合的な支援を実施
- 技術研究会
 - ・技術を核とした研究会活動を支援

【研究開発業務】

- 産学官連携研究の促進
 - ・研究テーマ 26 課題を実施。このうち 18 課題を企業、大学及び総合理工学研究機構等と連携して実施
 - ・国の委託事業（戦略的基盤技術高度化支援事業等）の積極的な取り組み
 - ・早期事業化に向けた研究の推進
- 競争的資金の積極的な獲得と活用支援
 - ・競争的研究資金の導入支援
- 産業財産権取得と有効活用促進
 - ・産業財産権等の取得を意識しながら研究開発業務を実施
- 課題対応受託研究への対応
 - ・企業で対応が困難な研究開発課題をセンターが実施
- 燃料電池評価プロジェクト推進事業
 - ・燃料電池セルの特性評価を行える機能を確立し、技術支援体制を強化
- オープンイノベーションの推進
 - ・企業ニーズを把握して大学等の技術シーズを探索し、国・県・産業支援機関等の補助制度を活用できるように支援
 - ・信州大学繊維学部との連携推進
 - ・産業技術総合研究所との連携推進（産総研 IC 事業の推進）
- 研究成果の普及啓発及び情報発信の促進
 - ・出前技術講座、企業巡回、ホームページなどにより周知

【人材育成業務】

- オープンイノベーション推進のための人材育成
 - ・オープンイノベーションの理解度を高め、効果的にオープンイノベーションを推進
- 技術講習会・研修会
 - ・最新の技術情報や、事業化、経営支援に関する情報提供を行う講習会・研修会を開催
- 出前技術講座
 - ・センター職員を企業、組合等に直接派遣して講座を実施
- ものづくり人材育成研修
 - ・県内企業を対象に、製造技術、開発技術、評価技術等について、座学、実習形式で研修を開催
- IoT 製品関連分野進出支援事業
 - ・超低温恒温恒湿槽、冷熱衝撃試験器、赤外線サーモカメラの整備
 - ・IoT 関連製品の信頼性評価セミナー等の開催
- 日本酒等品質強化支援事業
 - ・液体クロマトグラフ質量分析計の整備
 - ・企業技術者の交流会や導入機器に関するセミナー等の開催
- 技術者研修

- ・中小企業の従業員等を一定期間受け入れて行う研修を実施

【情報提供業務】

- 研究成果速報の配信、研究報告の発行、研究成果の動画配信
- 刊行物（年報、センターニュースおよびデザイン情報紙）の発行
- Web（甲斐絹ミュージアム、フェイスブック、YAMANASHI DESIGN ARCHIVE）による情報発信
- やまなし産学官連携研究交流事業での研究成果発表（オンライン開催）
- プロポーザルページによる情報発信
- センター利用の手引き及びメールマガジンの提供

【技術移転・事業化支援業務】

- 研究成果の技術移転促進
 - (a) 研究成果フォローアップ事業
 - ・終了した研究テーマの追試験や試作等を行うことで研究成果を発展させ、技術移転を促進
 - (b) 企業ニーズ対応試作開発事業
 - ・研究成果に対して、企業から技術移転や事業化の要望がある場合に、試作等による補完研究を実施
- 産学官金連携による事業化支援
 - ・「オープンイノベーション推進ネットワーク」、「ものづくりプラットフォーム」により、ニーズの把握から研究開発の実施、販路開拓等を一元的に支援

【その他の事業】

- センターの運営に関すること
 - ・運営会議の開催
 - ・外部評価会議の開催
 - ・業界との意見交換（個別訪問）
- 技術支援に資する機器の設置
 - ・計画的な設備機器の新規導入・更新等
- 技術交流
 - ・産業技術連携推進会議、学会等への参加・発表
 - ・各種会議・審査会等への派遣
- 職員の資質向上
 - ・職員のスキルアップのための計画的な研修派遣

運営

1. 運営会議

(1) 会議の概要

実施日	議題
令和3年8月20日 (会場:甲府技術支援センター)	(1) 中期運営計画及び令和3年度事業計画 ①基本方針 ②行動指針 ③主な取り組み [1 技術支援業務 2 研究開発業務 3 技術移転・事業化支援業務 4 人材育成業務 5 情報提供業務 6 その他の事業] (2) 意見交換 (3) その他

(2) 構成員（委員）名簿

[学識経験者]		
氏名	所属	役職
熊田伸弘	国立大学法人 山梨大学	理事・副学長
早川正幸	公立大学法人 山梨県立大学	理事長・学長
藤井まさ子	学校法人 C2C Global Education Japan 山梨学院大学	健康栄養学部長

[業界関係者]		
氏名	所属	役職
北原兵庫	山梨県酒造組合	会長
安藏光弘	山梨県ワイン酒造組合	会長
武田信彦	山梨県味噌醤油工業協同組合	理事長
内田長久	山梨県菓子工業組合	理事長
松本一雄	山梨県水晶宝飾協同組合	理事長
仲山一仁	一般社団法人 山梨県鉄構溶接協会	会長
中村 靖	一般社団法人 山梨県機械電子工業会	会長
中込 裕	一般社団法人 山梨県情報通信業協会	副会長
渡辺教一	山梨県絹人織織物工業組合	理事長

[関係機関]		
氏名	所属	役職
手塚 伸	公益財団法人 やまなし産業支援機構	理事長

2. 試験・研究課題等の外部評価会議

(1) 評価に対する考え方

評価を受ける目的	「山梨県立試験研究機関における評価指針（H13.3策定）」に基づき、山梨県産業技術センターが計画・実施する試験研究が、効率的かつ効果的に実施されるよう、公平中立の立場から客観的な意見をいただくために実施する。		
評価を受ける課題	山梨県産業技術センターが実施する研究は、すべて評価対象研究課題とする。ただし、国や企業等からの受託研究は、評価対象研究から除く（※）。 （※）受託研究は国や企業等の目的に基づいて行うものであり、研究費も委託者が負担するものであるため。		
研究課題の評価方法	評価の種類は、「事前評価」「中間評価」「事後評価」の3種類とする。評価方法は、効果的・効率的な研究の推進と、研究員の意識啓発をねらいに、客観的判断が可能な5段階評価方式とする。		
	事前評価項目	中間評価項目	事後評価項目
	①研究の必要性 ②研究内容の新規性 ③研究目標、研究計画の妥当性 ④研究体制、研究予算の妥当性	①研究計画の進捗度	①研究目標の達成度
評価結果に対する対応	<p>事前評価、中間評価では、評価の平均点に対し、次のとおり対応する。</p> <p>評価の平均点が2点以下の課題は、原則不採用または中止とする。</p> <p>評価の平均点が2点を超え、3点未満の課題は、コメントを参考に実施について再検討する。</p> <p>評価の平均点が3点以上の課題は、評価コメントを参考に必要に応じて修正し実施する。</p> <p>事後評価は、次の基準で採点される。</p> <p>5点：計画を上回る成果となった 4点：計画どおりの成果となった 3点：おおむね計画どおりの成果となった 2点：計画を下回る成果となった 1点：成果が得られていない</p> <p>それぞれの評価コメントを、技術移転や研究立案に役立てていく。また、評価点は、研究者が自らの研究を客観的に評価するための参考としていく。</p>		

(2) 評価対象課題

実施日	対象課題	評価種別
(基盤分野) 令和3年8月30日 (オンライン開催)	(基盤分野 7テーマ) ・不整地対応3次元地図作成・自律移動制御システムの開発 ・生産現場におけるLPWA無線の活用に関する研究 ・PLCと安価な組み込みコンピュータを用いた生産性向上IoTシステムの開発 ・固体酸化物形燃料電池用耐熱めっきの研究開発 ・パッシブ型制振器による振動抑制技術に関する研究 ・プラスチック材料の耐光性評価に関する研究 ・バナジウム化合物の光吸収発熱機構に関する研究	事後評価
	(基盤分野 1テーマ) ・金属3Dプリンタを活用した高付加価値製品創出に関する研究	中間評価
	(基盤分野 4テーマ) ・CNF技術を応用した新規和紙製品開発 ・EMI試験における特性改善に関する研究 ・めっき工場における生産工程データを活用した製品不良原因の検討 ・水素・燃料電池システムの多用途展開に関する研究	事前評価

実施日	対象課題	評価種別
(地場分野) 令和3年8月31日 (オンライン開催)	(地場分野 6テーマ) ・富士北麓・東部地域の伝統的な織物を活用した新商品開発 ・県内各地域の農産物の加工適性の把握と加工品開発 ・色石評価のための機器分析データベースの構築とその利用に関する研究 ・光吸収発熱保温製品の熱移動特性 ・硬質材料を用いた装身具への磁気バレル研磨法に関する研究 ・山梨県郷土伝統工芸品に関する調査研究	事後評価
	(地場分野 2テーマ) ・新たなウエルネスパンの製造技術の開発 ・バナジウム染色加工製品の高品質化に関する研究	事前評価

(3) 評価結果

①令和2年度に完了した研究課題の事後評価について

令和2年度に研究が完了した13研究課題の事後評価の評点は、地場分野では3.0～4.0の範囲（平均点3.7）、基盤分野では3.0～5.0の範囲（平均点4.1）であった。これらについては、今後、評価委員のコメントを参考に技術移転等に努めていく。

②令和4年度に実施する研究課題の事前評価及び令和3年度における中間評価について

事前評価対象6課題の評点は、地場分野では3.3～3.5の範囲（平均点3.4）、基盤分野では3.3～4.0の範囲（平均点3.7）であった。中間評価対象1課題の評点は、4.0であった。平均点が3点以上の課題については、外部評価委員からのコメントを参考に研究を実施・継続することとした。

(4) 委員名簿

基盤分野

氏名	所属	役職
郷健太郎	国立大学法人 山梨大学	教授
平晋一郎	国立大学法人 山梨大学	准教授
青木一樹	キャノンアネルバ株式会社	富士事業所長
小澤一昭	株式会社山梨県環境科学検査センター	代表取締役社長
菊地明久	株式会社長田電材工業	代表取締役社長

地場分野

氏名	所属	役職
藤井まさ子	学校法人 C2C Global Education Japan 山梨学院大学	学部長
奥田 徹	国立大学法人 山梨大学	学部長
柳本知一	山梨県貴金属装身具技能士会	理事
中澤智子	一般社団法人 山梨県食品衛生協会	所長
中島 靖	株式会社富士セイセン	相談役

3. 業界との意見交換

業種	実施日	内容	業界団体
食品・酒類	令和3年11月22日	(1)景況について (2)意見交換 ※新型コロナウイルス感染拡大防止 対策として個別訪問により実施	山梨県酒造組合
	令和3年11月24日		山梨県漬物協同組合
	令和3年12月13日		山梨県パン協同組合
	令和3年12月27日		山梨県ワイン酒造組合
研磨・宝飾	令和3年11月29日		山梨県水晶宝飾協同組合
機械電子	令和3年12月10日		一般社団法人 山梨県機械電子工業会
繊維	令和3年12月14日		山梨県絹人織織物工業組合

4. 山梨県オープンイノベーション推進ネットワーク会議

(1) 会議の概要

実施日		議題
第1回	令和3年10月7日 (会場:甲府技術支援センター)	(1) 各提案案件について (状況説明、今後の予定等) (2) 共同研究開発やNDA等の契約について (3) オープンイノベーション共創チャレンジ in 山梨について
第2回	令和4年3月22日 (書面会議)	(1) 各提案案件について (状況説明、今後の予定等) (2) オープンイノベーション共創チャレンジ in 山梨について (3) その他 (今後について 他)

(2) 名簿

[座長]		
氏名	所属	役職
角田義人	株式会社ファーストスクリーニング	取締役
[副座長]		
氏名	所属	役職
手塚 伸	公益財団法人 やまなし産業支援機構	理事長
[構成員]		
氏名	所属	役職
松坂浩志	株式会社塩山製作所	代表取締役社長
白川 太	山陽精工株式会社	代表取締役社長
新藤 淳	藤精機株式会社	代表取締役
岩坂 斉	株式会社ハーモテック	代表取締役社長

田中文敏	中央海産株式会社	代表取締役
齊藤大輔	株式会社オーテックエレクトロニクス	課長
幸物正晃	関東経済産業局 地域経済部 産業技術革新課	課長
吾妻勝浩	国立大学法人 山梨大学 URA・社会連携センター	URA・社会連携センター長／教授
内藤富美晴	国立大学法人 山梨大学 URA・社会連携センター	地域連携コーディネータ
米山真史	株式会社山梨中央銀行 コンサルティング営業室	室長代理
熊坂 治	公益社団法人 日本技術士会 山梨県支部	支部長
野本大貴	公益財団法人 やまなし産業支援機構	次長

技術支援業務

1. 技術相談、現地技術支援の担当別実績

部	担当	技術相談 (件)	現地技術支援 (企業数)	見学者 (名)
企画連携推進部		57	32	28
食品酒類・研磨宝飾技術部	食品酒類・バイオ科	378	93	2
	研磨・宝飾科	297	38	
電子・システム技術部	電子応用科	232	6	15
	システム開発科	208	64	
材料・燃料電池技術部	工業材料科	541	11	0
	化学・燃料電池科	623	39	
機械技術部		829	34	22
デザイン技術部		220	85	22
ワイン技術部		140	43	0
繊維技術部	製品開発科	333	45	0
	技術支援科	177	100	
機械電子技術部	機械電子科	936	28	0
	素材科	237	26	
合計		5,208	644	89

2. 中小企業重点支援事業

(1) テーマ一覧

テーマ	担当	期間
図面を使用した幾何公差方式の基礎習得	機械技術部	R3/4/7~4/28
めっきに係わる基礎知識の習得	化学・燃料電池科	R3/4/12~6/21
めっき技術に関連した基礎的な知識の習得	化学・燃料電池科	R3/4/12~7/2
IoTシステムの高付加価値化に関する検討	システム開発科	R3/5/10~R4/2/8
燃料電池搭載自転車のデザイン開発	デザイン技術部	R3/6/10~7/30
点眼補助具（一般市販点眼薬用）の商品販売に値するデザイン化	デザイン技術部	R3/8/31~12/24
サーボ等を活用した重機の電子制御化に関する検討	システム開発科	R3/10/1~R4/1/24
ミルクプリンとほうとう麺の試作開発および食感の評価	食品酒類・バイオ科	R3/11/1~12/28
市販乳酸菌スターターを用いたマロラクティック発酵工程の導入について	ワイン技術部	R3/11/22~12/28
新製品に向けた原料開発	化学・燃料電池科	R3/12/1~12/28

(2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	1	2	3	1	2	1	0	0	10

3. 客員研究員による支援

中小企業の技術及びデザインの高度化を図るとともに、産業技術センターの研究開発力を促進するため、特定分野で専門的な知識を持ち、高度な見識を有する人材を国内外から客員研究員として招聘する。

○食品関連（食品酒類・バイオ科）

氏名 蒲生 恵美（がもう えみ）
所属 （公社）日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 専門委員
支援概要 食品表示をはじめリスクコミュニケーションに関する技術支援
支援実績
・技術講習会での講演
・県内企業への技術支援
・センター職員への技術指導

○IoT/AI関連（企画連携推進部、電子・システム技術部）

氏名 壱圓 慶（いちまる けい）※
所属 壱圓慶ロボット研究所 所長
支援概要 生産性革命を推進するためのIoTツールに関する指導・企業支援
支援実績
・県内企業への技術支援
・センター職員への研究および技術指導
※ビジネスネーム

○オープンイノベーション関連（企画連携推進部）

氏名 角田 義人（つのだ よしと）
所属 株式会社ファーストスクリーニング 取締役
支援概要 オープンイノベーションの取り組みに対する指導・企業支援
支援実績
・オープンイノベーションによる装置の開発に関する支援
・オープンイノベーションによる知財戦略に関する支援
・自社製品等の開発・販売に関する支援

○精密測定関連（機械技術部）

氏名 中村 哲夫（なかむら てつお）
所属 CDT研究所 代表
支援概要 幾何公差方式に関する技術支援
支援実績
・中小企業重点支援事業による技術支援
・県内企業への技術支援
・技術講習会、ものづくり人材育成研修、出前技術講座での講演
・センター職員への技術指導

○デザイン（デザイン技術部）

氏名 高橋 正実（たかはし まさみ）
所属 有限会社マサミデザイン 代表
支援概要 地場産業、伝統工芸の技術・素材の潜在能力の把握～商品開発への展開支援
支援実績
・県内企業への技術支援
・センター職員への研究および技術指導

○デザイン（デザイン技術部）

氏名 大沼 敦（おおぬま あつし）
所属 株式会社大沼デザインスタジオ 取締役
支援概要 地場産業、伝統工芸の技術・素材の潜在能力の把握～商品開発への展開支援
支援実績
・県内企業への技術支援
・センター職員への研究および技術指導

○デザイン（繊維技術部）

氏名 家安 香（いえやす かおり）
所属 Edelkoort East（株）/トレンドユニオン日本支社 代表
支援概要 織物産業におけるブランド力の向上
支援実績
・やまなし地場産品ブランド化支援事業による総合プロデュース
・個別相談支援、合同勉強会等

4. 依頼試験・設備利用等

(1) 実績一覧

項目	依頼試験	依頼加工	設備使用	証明書等交付	図案等調整	合計
件数	3,961	1,386	21,697	59	2	27,105

(2) 依頼試験の内訳

①項目別

項目	機械 金属	精密 測定	環境 試験	電気 電子	化学 分析	貴金属 ・ 宝飾石	食品・ 酒類・ 微生物	ニット ・ 縫製	設計 解析	繊維	合計
件数	1,060	468	272	0	491	2	605	67	0	996	3,961

②担当別

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	531	0	1,121	575	67	220	920	527	3,961

(3) 依頼加工等の内訳

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	1,205	0	141	0	0	0	0	40	1,386

(4) 設備使用の内訳

①項目別

項目	機械 設計	工作 機械等	電気 電子	化学 分析	研磨 宝飾	食品 加工機	繊維	その他	合計
件数	14,497	915	1,676	1,800	2,011	157	605	36	21,697

②担当別

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	2,771	3,717	7,246	3,887	367	529	641	2,539	21,697

(5) 試験成績証明書交付の内訳

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	3	0	21	0	32	2	0	1	59

(6) 図案等調整の内訳

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	0	0	0	0	0	0	2	0	2

(7) その他 (酒母)

項目	件数	担当
酒母	10	ワイン技術部

(8) 設備利用研修会

①一覧

設備	実施日	担当	参加者数
第1回「揮発酸」	R3/6/30	ワイン技術部	13
第2回「アルコール分、比重」	R3/7/7	ワイン技術部	13
第3回「総酸、pH、ホルモール態窒素」	R3/7/14	ワイン技術部	13
ワイヤ放電加工機 技術者向けセミナー	R4/1/26	機械技術部	中止
ワイヤ放電加工機 技術者向けセミナー	R4/1/27	機械技術部	中止
設備利用研修会 (公財) JKA 補助事業導入機器 (精密万能材料試験機) 「一般的な試験及び非接触伸び計を使用した試験他」	R4/2/14、15、22、3/11、 17、29	機械電子技術部	9 (0)
設備利用研修会 (公財) JKA 補助事業導入機器 「CNC 画像測定機の測定実習」	R4/2/15	機械技術部	中止
合計			48

②担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数	0 (0設備)	0 (0設備)	0 (0設備)	0 (0設備)	0 (0設備)	39 (3設備)	0 (0設備)	9 (1設備)	48 (4設備)

(9) 設備利用研修

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数	24	16	102	5	3	0	7	40	197

5. 研究会への支援

食品酒類・研磨宝飾技術部

担当	研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
食品酒類 ・ バイオ科	山梨県食品技術研究会	129	R3/7/29	総会	山梨県男女共同参画推進センター（びゅあ総合）	10
			R3/11/15	技術講座	甲府技術支援センター	29
			R4/3/15	講演会	山梨県男女共同参画推進センター（びゅあ総合）	19
合計						58

材料・燃料電池技術部

担当	研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
化学 ・ 燃料電池科	山梨県表面処理研究会	17	R3/6/21	総会	書面開催	-
			R3/12/13	第35回研究発表会	甲府技術支援センター	17
			R4/3/8	講習会	甲府技術支援センター	9
			R4/3/17	役員会	書面開催	-
合計						26

機械技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
山梨県型技術研究会	15	R3/9/8	総会	書面開催	-
合計					-

デザイン技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
山梨県ニット研究会	19	R3/6/2	定期総会	書面開催	-
合計					-

機械電子技術部

研究会名	会員数	期日	事業内容	会場	参加人数
テクノネット「ふじざくら」	31	R3/5/18	幹事会	富士技術支援センター	8
		R3/7/15	総会	富士技術支援センター	10
		R3/7/15	講演会 「実体験に基づく医療機器業界への新規参入のポイントと課題」	富士技術支援センター	11
		R3/7/15	講演会 「MDC 推進センターの事業概要と今後の方向性」	富士技術支援センター	11
		R3/12/15	講演会 「自動車の電動化に伴う製造業への影響と車両生産に於ける技術課題」 講演会 「協働ロボットの最新活用事例と導入のメリット」	富士技術支援センター	20
合計					60

6. やまなし地場産品ブランド化支援事業

産地認知度向上や新規販路の開拓、デザイン力の向上に向けた取り組みを推し進めるとともに、オリジナルブランドに取り組む企業に対して総合的なプロデュースを行った。

(1) ブランド力向上サポートプロジェクトの実施

新市場開拓・自社ブランド立ち上げ・海外進出など、事業のステップアップを目指したチャレンジ戦略に取り組む織物企業及びグループに対して、個別のアドバイスや合同での勉強会を開催

内容	講師	期日	企業数
個別指導	客員研究員 家安 香	R3/4/2～R4/3/17	25
合同勉強会		R3/4/24～12/11	56

(2) 外部講師による勉強会の開催

織物製造業、燃糸業、染色業、整理加工業など織物に関わる異業種の若手後継者等による勉強会を開催

テーマ	講師	期日	会場	参加者数
「what is fashion?」	ユナイテッドアローズ 栗野宏文	R3/4/18	小室浅間神社	15
「coconogaccoに見るファッションと教育の可能性」	writtenafterwards 山縣良和	R3/4/18	FUJIHIMURO	15
「民藝と産地を考える」	東京造形大学名誉教授 大橋正芳	R4/3/10	富士技術支援センター	24

(3) 交流・マッチングプログラム

小売、流通、企画デザイン等様々なジャンルから専門家を招待し、生産現場でのディスカッション、情報交換と交流を通じたネットワークの構築のためのマッチング事業を実施

回	内容	期日	参加者数
第1回	山梨ハタオリ産地バスツアー2021	R3/12/10	12
第2回	ここのがっこう×山梨ハタオリ産地バスツアー2021	R3/12/11	16

研究業務

1. 産学官連携研究の促進

(1) 研究の形態

区分	テーマ数	概要
成長戦略研究	9	やまなし科学技術基本計画に掲げる成長促進分野において、新技術の開発や新産業創出に資する研究
重点化研究	1	やまなし科学技術基本計画に規定される重点投資分野に沿った研究
総理府研究	5	山梨県総合理工学研究機構※がコーディネートする産学官連携研究
経常研究	10	技術支援や企業の課題解決等のうえで必要となる研究
競争的資金研究	1	国や特殊法人が公募する競争的資金研究に採択された研究

※山梨県総合理工学研究機構は、県立試験研究機関の人的資源や設備、研究ノウハウを横断的、有機的に連携させ、新しい技術や、新しい産業創出につながる研究開発を行うとともに、産学官の連携を積極的に推進している県の組織です。

(2) 研究テーマ

①成長戦略研究

県産日本酒の競争力向上のための新規日本酒酵母に関する研究 (R2~R6)

長沼孝多・橋本卓也・小嶋匡人・尾形美貴 (食品酒類・バイオ科)・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部)・北原兵庫 (山梨県酒造組合)・山村英樹 (山梨大学)

分離酵母2株について重イオンビーム照射 (FeあるいはAr、400Gy) を実施し、照射後のコロニーを選択培地に塗抹し培養したところ、計29コロニーが取得された。

また、県酒造組合員の酒造用水を3期 (R2酒造時 (秋)、R3春、R3酒造時 (秋)) にわたり採取し、酒類総合研究所標準分析法にしたがい分析を実施した。カルシウムおよびマグネシウムの量を示す硬度は、ほとんどの採水地で50未満の「軟水」であったが、50~100の「中程度の軟水」あるいは100~150の「軽度の硬水」に該当する場所もあった。これらの分析結果をもとに主成分分析を行い視覚化した結果、同じ採水地の3期分のデータは比較的近い位置にまとまっていたことから、採水地ごとの特徴が認められた。

高強度ステンレス鋼線の新しい伸線加工技術に関する研究 (R2~R3)

長田和真・石田正文・鈴木大介・阿部治 (工業材料科)・佐野正明 (機械技術部)・鈴木由幸・三枝良一・細野勇樹・山本忍 (株式会社降矢技研)

※特許出願予定のため、本誌には掲載いたしません

金属3Dプリンタを活用した高付加価値製品創出に関する研究 (R2~R4)

萩原義人・寺澤章裕 (素材科)・古屋雅章 (機械電子科)・石黒輝雄・西村通喜・小松利安・早川亮・米山陽・坂本智明 (機械技術部)・鈴木大介 (工業材料科)・清水毅 (山梨大学)・田中隆三・市村誠・岩尾翔太 (株式会社松浦機械製作所)

金属3Dプリンタは、既存の製造法では実現不可能な形状を作製できることから今後の主な製造法の一つとして期待が高まっているが、造形時の残留応力の発生による変形、仕上げ加工時の高精度加工法、表面粗さの悪化等、いくつかの課題も生じている。

そこで本研究では、金属3Dプリンタ造形物の各造形条件ごとの残留応力、切削加工時の工具の摩耗量、電子ビーム加工による表面改質等に関する評価を実施した。

その結果、ニッケルアロイ718で造形した角柱サンプルの応力値は、造形高さではなく造形時のレーザ走査速度に依存すること、SUS316L市販材よりSUS316L造形物の方が、窒素雰囲気下において工具摩耗量が少ないこと、TiN粉末を塗布したSUS316L造形物表面に電子ビーム加工を施すことで表面改質効果が生じたこと、などを確認することができた。

山梨県産ワインの多様化および品質安定に関する研究 (R2~R3)

木村英生 (ワイン技術部) ・小松正和 (化学・燃料電池科) ・佐藤憲亮・恩田匠 (ワイン技術部)

本研究では、県産ワインの高品質化、多様化および品質安定の観点から、淡紫色の果皮を活かした「『甲州』オレンジワイン」の製造技術、長期熟成に向けた「甲州ワイン」の製造・貯蔵技術、およびブドウの着色不良による影響を緩和する「赤ワイン」の色調安定化に関する3種類の研究課題に取り組み、本県ワイン産業の競争力を高めることを目的とした。

令和3年度は、「甲州」オレンジワインについて、同一原料の「甲州」を使用し、醸し発酵を行う醸造と白ワイン醸造の違いや、ハイパーオキシデーション処理、破碎後ブドウの冷凍解凍処理の効果を検討した。これらの処理法で赤味や黄色味を強化できることが確認できた。また、赤ワインについては、収穫時期の異なる「マスカット・ペーリーA」を用いて、製成ワインの色調への影響を検討した。原料ブドウの収穫時期の選択も、色調制御の重要な要素となることが確認できた。

高級ノンアルコール飲料の開発 (R3~R5)

尾形美貴 (食品酒類・バイオ科) ・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部) ・小嶋匡人・長沼孝多 (食品酒類・バイオ科) ・輿水精一 (株式会社ハセラボ) ・久保田勇 (萌木の村株式会社)

令和元年の「国民健康・栄養調査」(厚生労働省)によると、飲酒しない割合が国民の半数以上を占め、ノンアルコール飲料市場は10年で4倍の規模に成長している。コロナ禍の影響もあり、ノンアルコール飲料は従来のアルコールの代替品という位置づけから、嗜好品としての存在感が高まっている。今後も、市場の拡大傾向は続く予想されるが、ノンアルコール飲料の選択肢は、十分であるとは言えない。そこで、本研究では、発酵工程を経たアルコールからノンアルコール飲料を製造する技術を確立し、新たな市場を開拓することを目的とした。

本年度は、アルコール発酵に使用する麦芽の糖化について、処理温度の検討を行い、破碎麦芽に約5倍量の水を加え、70℃で3時間処理すると糖度が15度に到達することを確認した。また、糖化液はろ紙(No.2)による濾過で、清澄化できることが分かった。

マグネシウム合金の表面処理による生体内分解速度制御に関する研究 (R3~R4)

鈴木大介 (工業材料科) ・佐野正明 (機械技術部) ・八代浩二 (材料・燃料電池技術部) ・三井由香里 (総合相談・連携推進科) ・長田和真 (工業材料科) ・諸井明德 (山梨大学)

本研究は、インプラント材としてマグネシウム合金の適用を検討するものである。マグネシウムは生体中の必須ミネラルであるため安全性が高く、骨の皮質骨に近い弾性率を有していることから、血管拡張用ステントや骨接合剤として運用され始めつつある。しかし、マグネシウムは生体内で分解速度が速く、治癒が完了するまでに完全に分解してしまう点が課題である。そこで、マグネシウム合金表面に表面処理膜を形成し、この課題の解決を試みる。形成した表面処理膜の分解挙動について検討を行うとともに、最適な期間健全性を保ちつつ、最終的に生分解を示す表面処理方法の提案を行うものである。

本年はダイカスト铸造された純マグネシウムに近い組成を有する合金に対して水熱処理を実施し、各種評価を行った。その結果、前処理として熱処理を実施すると、水熱処理膜の形成状況が異なるとともに、膜の形成速度に違いが生じることが判明した。

第5世代移動通信システム(5G)用プリント配線基板材料の表面改質に関する研究 (R3~R4)

阿部治・石田正文 (工業材料科) ・塩澤佑一朗 (化学・燃料電池科) ・尾形正岐 (機械電子科) ・久保博義・須賀隆明・中込雄基・眞壁健司・渡邊なお記 (コミヤマエレクトロン株式会社)

第5世代移動通信システム(5G)用プリント配線基板材料として四フッ化エチレン樹脂(PTFE)が有望であるが、配線パターンを形成する銅との密着性が悪いことが課題である。そこで本研究ではPTFEを表面改質することで、PTFE基板と銅の密着性向上を目指している。

今年度は、様々な条件により表面改質を行ったPTFE表面、およびPTFEと銅箔の断面を電子顕微鏡により観察したところ、PTFEと銅の界面に隙間がなく、PTFE表面の凹凸も小さいことを確認できた。また表面改質を行ったPTFE表面をXPSで分析した。表面改質により、PTFEを構成する $-CF_2-$ の分子鎖が切断され、他の結合が増えていることがわかった。

山梨県の新しいブレンド白ワインに関する研究 (R3~R5)

佐藤憲亮・木村英生・恩田匠 (ワイン技術部) ・小松正和 (化学・燃料電池科)

ワイン製造ではブレンド技術が重要な役割を果たしている。「ボルドー」などのワイン産地では2種以上の品種をブレンドすることで、より特徴的なワインの製造につながっている。本研究では、本県におけるブレンドワイン製造技術の確立に着手した。本県の重要品種である「甲州」のワインを主体に、各種県産ブドウ品種の白ワインのブレンドを行い、「甲州」と相性良く調和する品種や比率などを検討することとした。本年度は県内で栽

培されているブドウ8品種を原料として果汁を調製し、その果汁を用いて、同一条件で白ワインを醸造した。果汁の成分分析から、品種ごとに糖度や酸度に差異がみられた。また、製成したワインはその成分値から、健全に発酵が行われたことを確認した。

ポラス金属材料の射出成形金型への適用 (R3~R4)

寺澤章裕・望月陽介・萩原義人(素材科)・勝又信行・尾形正岐・古屋雅章(機械電子科)・石黒輝雄・早川亮・米山陽(機械技術部)・長田和真(工業材料科)・水越彦衛(株式会社道志化学工業所)

ポラス金属材料は、強度を保ちつつガスを通す材料であるため、金型ガス抜き部材等への活用が期待されている。また、金属3Dプリンタは、造形条件の設定によりポラス金属の造形が可能である。そこで、金属3Dプリンタを用いたポラス金属材料を、金型ガス抜き部材へ適用することを目的として、適切な造形条件について検討すると共に、造形したポラス金属材料の物性評価の実施、さらには射出成形実験を行いその効果を検証する。今年度は、ポラス金属材料造形時の走査ピッチ及びレーザ走査速度を変化させて造形することで、金属3Dプリンタの造形条件と造形物の密度の関係性を明らかにした。また、材料試験を実施して、強度の指標となる0.2%耐力を求めた。

②重点化研究

CNF技術を活用した素材開発 (R1~R3)

芦澤里樹・塩澤佑一朗(化学・燃料電池科)・上垣良信・宮澤航平(製品開発科)・小嶋匡人(食品酒類・バイオ科)・森長久豊(山梨大学)

セルロースナノファイバー(CNF)は、植物由来の新素材である。本研究では、CNFとその作製技術を活用して和紙産業へ応用可能な素材開発を行うことを目的としている。CNFを和紙に塗ることで補強した高強度和紙、CNF技術を利用して発熱保温性のあるバナジウムを和紙に混ぜ込むことにより和紙に機能を付与する機能性和紙、植物由来の樹脂とブドウ搾りかすから作ったCNFを複合化させて作る植物由来接着剤の3つの項目に取り組んでいる。高強度和紙では、CNF塗工による強度向上がみられ、さらに強度の向上率はCNFの重合度と負の相関があることがわかった。機能性和紙では、最適化した条件によりバナジウム含有和紙を作製し、人工太陽光照射により発熱することを確認した。植物由来接着剤では、植物由来樹脂にブドウCNFを複合化させることで強度が向上することがわかった。

③総理研研究

新しい肉質のモモの多様な流通・販売に向けた加工・貯蔵方法の開発 (R1~R3)

樋口かよ・尾形美貴・長沼孝多(食品酒類・バイオ科)・新谷勝広・山下路子・桐原峻・加藤治・國友義博(果樹試験場)

県果樹試験場において“甲斐トウ果17(商標名:夢桃香)”が開発され、同様の特性をもつ“モモ山梨20号”も選抜されている。これらのモモは、褐変しにくく適度なかたさを特長とする新しい肉質のモモとされ、普通モモでは商品化が難しいカットフルーツや加工品等への新たな利用に期待されている。本研究では、カットフルーツ化を目指した試作および委託製造を行い、実用化を目指した検討を行った。

果物の専門家の方々にアドバイスをいただいた結果、果肉の変色や果汁溶出が少ないモモの場合、カットフルーツとして販売できる可能性があることが分かった。また、果実のまま25℃で5日間保存すると、果肉色が白色から全体的にやや薄い赤色に変化することが確認され、保存温度により果肉の色を調整できることが分かった。委託製造により、ゼリー、スポンジケーキ、タルトを試作した結果、味、外観ともに良好な評価が得られ、商品化に期待できることが分かった。

獣類侵入防止技術の確立 (R2~R4)

清水章良・中村卓(電子応用科)・三神武文(化学・燃料電池科)・本田剛(総合農業技術センター)・宇佐美二郎(株式会社末松電子製作所)

※商品化に関する情報のため、本誌には掲載いたしません

ICT・IoTを活用した農作物の生育と害虫発生の予測 (R2~R4)

布施嘉裕・永田靖貴・中込広幸(システム開発科)・池田博彦・内田一秀・芦澤勇太・鷹野公嗣・鈴木美奈子(果樹試験場)・上野直也・志村純子・石井利幸・窪田哲(総合農業技術センター)

近年は、気象変動により農作物の生育や害虫の発生時期がこれまでより著しく早くなる、あるいは遅くなる事例が多く見られ、計画的な作業や害虫の適期防除が難しくなっている。一方、最近ではICT(情報通信技術)、IoT(モノのインターネット)を利用し、気象や栽培環境を解析することで、農作物の生育や害虫の発生の予測が

可能となっている。そこで、本研究では「メッシュ農業気象データシステム」を活用して、農作物の生育・害虫の発生・施設果樹の低温積算時間の予測を行う仕組みを構築し、県内農業の振興と生産の安定化を図る。

産業技術センターにおいて、令和3年度は、強制通風筒の試作、低コストで導入可能な圃場環境モニタリングIoTシステムの改良、及び、耐久試験を実施した。

山梨県固有のデザインソースの集積と「山梨らしさ」を付加価値とした製品等の開発に関する研究（R3～R5）

串田賢一・佐藤博紀（デザイン技術部）・秋本梨恵（技術支援科）・中村卓（電子応用科）・郷健太郎・木下雄一郎（山梨大学）・森原明廣・小畑茂雄・海老沼真治・中野賢治・松田美沙子・西願麻以・近藤暁子・丸尾依子（博物館）・山形敏貴（文学館）

各地域がそれぞれの特徴を生かした自律的で持続的な活動を推進し、活力ある社会を作り上げていくことを目的とする政策として「地方創生」が掲げられたことで、地域や地場製品のブランディングを推進する動きが盛んになっている。こうした中、本県の地域、地場製品のブランディングをデザインの視点から推進するため、①地域固有のデザイン資源の掘り起こし～コンテンツ化、②これらコンテンツ等の集積・分析等から付加価値の源泉となる「山梨らしさ」の構成要素の解明、③「山梨らしさ」を織り込んだ新たな名産となる地場製品の試作開発の3点に取り組んでいる。このうち、今年度は①、②について中心的に実施した。

①については、地域に古くから存在している「文字」に着目し、地域に古くからある店舗看板、文学館・図書館の所蔵している古い雑誌類、甲州文庫の取材を通して400点以上の特徴ある文字をデジタルデータ化した。

②については、人文科学、感性工学、深層学習の3つの異なる手段によりアプローチし、それぞれ今後の研究推進の基礎となる県民性に係るキーワード、調査結果、学習モデルを得た。

Fe-Ga単結晶を用いた振動発電IoTデバイスの実用化に向けた研究（R3～R4）

望月陽介（素材科）・八代浩二（材料・燃料電池技術部）・石黒輝雄・坂本智明（機械技術部）・勝又信行・尾形正岐・古屋雅章（機械電子科）・萩原義人・寺澤章裕（素材科）・中村聖名（機械電子技術部）・鈴木茂（東北大学）・上野敏幸（金沢大学）

※特許出願予定のため、本誌には掲載いたしません

④経常研究

放射EMI試験における可視化システムの効率的な運用に関する研究（R2～R3）

清水章良・中村卓（電子応用科）

電子機器を市場に出すためには、製品から発生している電磁波を一定量以下に抑えるように規制されている。企業においては事前に規制を満たしているか測定する必要があるが、測定には高額な設備や測定器類が必要となるため、外部の専門機関で測定を行うことが一般的である。当センターにも簡易的ではあるが測定可能な設備があり、多くの企業が利用している。しかし、稼働率が高いため要望に対して迅速な対応が出来ていない。

本研究では、電波暗室をより多くの企業に利用できる環境を構築することを目標として、令和元年度に導入したノイズ可視化システムの効率的な運用に関して研究を行った。その結果、電波暗室以外の環境においてもノイズ対策などに利用できること、周波数帯域を絞って可視化を行うことにより、ノイズ源の特定が容易に行えることが分かった。

AIを用いた製品検査の効率化と製造現場への適用に関する研究（R2～R3）

中村卓・清水章良（電子応用科）

製造現場における製品検査など様々な検査において、AIを用いた検査の自動化・省力化に注目が集まっており、近年はディープラーニングを用いた手法に注目が集まっている。しかし、ディープラーニングでは学習のために数千ものデータを事前に収集する必要があり、導入までに時間やコストがかかり、また企業側もAIやIoTに関するノウハウがまだ少ないため、製造現場におけるAIやIoT技術に関する知見の蓄積も課題である。

本研究では、それらの課題を解決するために、AIによる高精度な検査手法、および検査工程の省力化や導入コストの削減に適した手法について検証を行う。また、実際にIoTシステムを製造現場に適用して運用・検証を行い、知見の蓄積も併せて行う。

郡内織物産地の織機部品に関する調査研究（R2～R3）

鈴木文晃（デザイン技術部）・秋本梨恵・五十嵐哲也（技術支援科）・勝又信行（機械電子科）・中村聖名（機械電子技術部）

山梨県郡内地域で使用されている織機には導入から長い期間が経過したものが多くあり、そうした織機は旧式化により交換部品の入手が困難な状況が発生している。この状況が進むと部品不足により織機が稼働できず、生産が停止する状況も考えられる。この課題に関して、状況を明らかにし対策に向けた検討をするための調査を行

った。企業等へ情報収集し、不足部品の状況と現状の対処方法、その方法による課題点等について整理するとともに、他産地でも同様の課題が進行している状況等を調査した。また、消耗する部品の形状を3Dスキャナ等により取得し、3次元データとして保存する方法を検討し、調査した部品の中から約10部品について実施した。併せて取得した3次元データを用いて代替品を外注製造する方法について調査し、この方法での部品供給の実現性について検討した。こうした調査結果は、将来の郡内織物産地の織機維持について検討するための資料とした。

3Dプリンティングで作製した樹脂型の射出成形への適用について (R2~R3)

古屋雅章・勝又信行(機械電子科)・萩原義人・寺澤章裕・望月陽介(素材科)・佐藤博紀(デザイン技術部)

射出成形は、プラスチック製品の製造に欠くことのできない製造技術である。プラスチック製品の生産は、数個から数十個の試作レベル、数百から数千個の小・中ロット生産、数万個単位の大量生産に大別できる。短納期が求められる試作や小ロット生産では、切削加工や3Dプリンタでの造形が採用されているが、使用材料が専用樹脂であるなど、射出成形品と材料特性が異なる場合がある。また、小ロット製品で射出成形を用いるには製造コストの問題等から導入しにくいといった課題がある。

そこで本研究では、金型の代替としてプラスチック射出成形用の型を樹脂3Dプリンタで作製、成形実験を行い、樹脂型の課題の抽出およびその解決方法の提案を行った。その結果、射出後の型開き時に樹脂型を空冷させることにより30ショット射出させることができた。また、樹脂型で作製したサンプルは金型のものよりも、それが大幅に改善されていることがわかった。

蛍光分光分析を用いた色石評価に関する研究 (R3)

佐藤貴裕・宮川和博・佐野照雄(研磨・宝飾科)・有泉直子(食品酒類・研磨宝飾技術部)・笠原茂樹・小泉一人(一般社団法人宝石貴金属協会)・高橋泰(宝石美術専門学校)・松本一雄(山梨県水晶宝飾協同組合)

山梨県の宝飾産業は他地域に比べてダイヤモンド以外の色石や半貴石の取り扱いが多い。これら宝石の一部は合成石が流通していたり、高付加価値化のために熱処理等が施されたりしており、その判別は重要な課題となっている。本研究では、分光蛍光光度計を用いて様々な産地のルビーの三次元蛍光スペクトルを測定し、得られたスペクトルを多変量解析することで、鑑別への応用を検討した。

各産地の三次元蛍光スペクトルを多変量解析の一種である主成分分析により解析した。その結果、蛍光の強いグループ(ミャンマーおよび合成(ベルヌイ法))、弱いグループ(タイ)、それ以外(モザンビークおよびマダガスカル)に分けることで、クラス分類によって判別できる可能性が示唆された。そこで、k近傍法によるクラス分類を検討したところ、平均正解率はおよそ82%であった。

磁気バレル研磨機の加工能力向上に関する研究 (R3~R4)

林善永(企画・情報科)・宮川和博・佐野照雄・佐藤貴裕(研磨・宝飾科)・有泉直子(食品酒類・研磨宝飾技術部)・平晋一郎(山梨大学)・松本一雄(山梨県水晶宝飾協同組合)

近年、宝飾業界では従来よりも硬質な金属を用いた装身具が増加傾向にある。このような装身具は、傷がつきにくい、爪や石枠を細くして石がより見えやすくすることができる、華奢なデザインを採用することができる等のメリットがある一方で、磁気バレル研磨等の加工がしにくいというデメリットがある。市販装置を用いたこれまでの研究により、水流の発生が加工能力低下の原因のひとつであることがわかったため、本研究では水流を抑制し加工能力を向上させるための磁石配置を検討した。容器直径100mm、メディア量120gの条件において、各磁石の間隔が比較的均等な配置の円盤を使用したときに最も加工能力が高くなった。メディアが容器底全体に広がりやすく、メディアの厚みが大きくならなかったため、比較的低い位置で加工できたものと考えられる。

燃料電池用小型パワーコントローラの放熱構造に関する研究 (R3)

西村通喜・坂本智明・早川亮(機械技術部)・萩原茂(甲府技術支援センター)・佐藤幸徳(日邦プレジジョン株式会社)

燃料電池の複雑な電力制御で用いられるパワーコントローラは、複数のパワー半導体で構成される。大きな電力を制御することから、半導体の発熱量が著しく高く、十分な冷却が伴わないと高温度により半導体のダメージが発生し、壊れてしまう。

本研究では、伝熱シミュレーションを行い、パワーコントローラの高集積化による小型化を実現する手法を確立し、小型モビリティに使用可能な小型・低価格コントローラを開発する。

試作した制御基板は、基板表面に電子部品を実装し、放熱が必要なパワーコントローラ等は、銅を用いて基板裏面に伝熱させ、裏面に配置したパターンにより放熱させる構造とした。シミュレーション結果では、基板のみでは最高温度が300℃以上に発熱する結果であるが、放熱フィンを効率的に配置させることで、70℃以下まで抑えることができた。

このように、基板構造と放熱フィンの効果的な配置により、基板温度の上昇を抑える方法を解析により得ることができた。

デジタルジャカード技術による色彩表現 (R3~R4)

五十嵐哲也・秋本梨恵 (技術支援科)・豊浦正広・茅暁陽 (山梨大学)

本県織物産地は厳しい経営環境のなかで、先染め、ジャカードなどの技術的特長を生かした提案型企業を目指す戦略が求められている。それに対応するため、デジタル技術によるジャカード表現方法について階調変化のスムーズさや高精細な分解能を再現する独自技術の開発と市場化支援を行ってきた。今後さらに市場化を推進するため、本研究ではこれまで重点を置いてきたモノクローム画像の再現性の向上から、色彩表現に重点を置いたアプローチにより新たな商品開発を可能とする独自技術の開発を行った。

その結果、経糸1色と緯糸3色の計4色という比較的少ない色数でも服飾用素材としての実用上フルカラーに近い再現性を実現し得ることが分かった。また緯糸3色の組み合わせによって寒色系、暖色系など様々な色彩トーンを表現できること、また用いる色糸から製織結果を予測するための基礎データを得ることができた。

真空熱セットにおける繊維製品の温度管理に関する研究 (R3)

宮澤航平・上垣良信・望月威夫 (製品開発科)

当産地では、繊維製品の熱処理工程に真空熱セット機と呼ばれる熱処理機器が使用されている。真空熱セットとは真空にした窯の中に蒸気を急激に注入することで、製品に均一な熱処理を施す熱処理方法であるが、時折、熱処理不良が発生することが問題となっていた。本研究では、熱処理不良発生の原因の解明と改善のために最も熱処理不良の発生頻度が高いお巻き (絵柄を捺染した経糸を巻き取ったもの) を対象として、真空熱セット中のお巻きの内部温度の変化を調べた。その結果、熱がかかりづらく、設定温度に達するまでに時間がかかる箇所があることがわかった。改善策としては、セットの途中でお巻きを回転させることで蒸気の通りをよくすることが有効であるとわかった。

プラスチック材料の耐候性における水噴霧の影響 (R3~R5)

尾形正岐・勝又信行・古屋雅章 (機械電子科)・寺澤章裕 (素材科)

耐候性試験機で屋外暴露を再現する耐候性試験を行う際の基準となる試験条件を見出すために研究を行った。代表的なプラスチック材料 (ABS、PP、PC) の試験片でメタルハライドランプ式耐候性試験機 (以下、メタハラと略記) による照射と屋外暴露を行った。メタハラによる照射では、2とおりのサイクルで照射を行った。1つ目は102分照射のみ行った後に18分照射とともに水噴霧を行うサイクルである。2つ目は48分照射のみ行った後に12分照射とともに水噴霧を行うサイクルである。照射および暴露を行った試験片の色差、引張強さを測定し比較した。色差から、メタハラにより屋外暴露を再現できる試験条件を推定できた。引張強さからは屋外暴露を再現できる試験条件を推定できなかった。屋外暴露を再現するためにはサイクル条件をさらに検討する必要があると考えられる。

⑤競争的資金研究

難燃性マグネシウム合金のダイカストによる自動車部材の量産プロセス技術開発 (R1~R3)


佐野正明 (機械技術部)・八代浩二 (材料・燃料電池技術部)・三井由香里 (総合相談・連携推進科)・鈴木大介 (工業材料科)・松本敏治 (株式会社戸畑製作所)・松本大毅 (株式会社戸畑ターレット工作所)・千野靖正 (産業技術総合研究所)・行武栄太郎 (茨城県産業技術イノベーションセンター)

温室効果ガスの排出量を抑制するために、輸送機器の軽量化等による燃費向上が重要である。有力技術としてマルチマテリアル化が提案されており、ホイールはマグネシウム、締結部材は既存の鉄やアルミニウム、カバーは樹脂を用いるなどの方策が期待されている。しかし既存のマグネシウム合金は、溶解時に燃えやすく耐食性が低い事が問題視されている。本研究は、開発中の難燃性マグネシウム合金の耐食性向上 (水熱処理付与) を目的とし行った。

水熱処理した開発合金の摩擦摩耗試験を行った結果、水熱処理前の摩耗深さは 30 μ m であった。これに対し水熱処理 140 $^{\circ}$ C (1 時間) の条件および 150 $^{\circ}$ C (1 時間) の条件では 4 μ m と低下した。また 14inch ホイールを模擬したミニチュアホイールの耐食性評価のために塩水噴霧試験を行った結果、ホイール全面に腐食生成物の形成が認められたが、水熱処理したホイールは部分的に腐食生成物が認められるのみで耐食性は良好となることが確認できた。

2. 産業財産権の取得状況

(1) 産業財産権（県単独）

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者
特許	4963118 (H24/4/6)	2008-212725 (H20/8/21)	動物繊維における銀染色方法、2-メルカプトエタンスルホン酸塩水溶液を用いた銀染色の制御方法、及びこれらの方法を適用した動物繊維	上垣良信 渡辺 誠
	5311092 (H25/7/12)	2008-010855 (H20/1/21)	ジャカード織物の製造方法	五十嵐哲也 吉村千秋 中村聖名
	5948551 (H28/6/17)	2014-022852 (H26/2/7)	装身具用合金	宮川和博 有泉直子 望月陽介 鈴木文晃 清水 進
	6711983 (R2/6/2)	2015-232550 (H27/11/29)	光電界センサおよび電磁界計測装置	木島一広 萩原 茂 河西伸一 河野 裕 阿部 治 清水章良 中村 卓
	6716808 (R2/6/15)	2017-055305 (H29/3/22)	表示具と果実の生産方法	佐藤博紀 萩原栄揮 池田博彦 富田 晃
	6792108 (R2/11/10)	2019-569988 (H31/4/23)	光吸収発熱保温用複合体とその製造方法	上垣良信 阿部 治 塩澤佑一朗
	6823824 (R3/1/14)	2016-171295 (H28/9/1)	マイクロ流体デバイス	山田博之 西村通喜 長田和真 阿部 治 尾形正岐 高尾清利
	6980238 (R3/11/19)	2020-88529 (H31/4/23)	光吸収発熱保温用複合体	上垣良信 阿部 治 塩澤佑一朗
商標	5421791 (H23/7/1)	2011-001192 (H23/1/12)		五十嵐哲也 上垣良信

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者
商標	6138451 (H31/4/19)	2018-165529 (H30/12/21)	URUSHINASHIKA	串田賢一
	6138452 (H31/4/19)	2018-165530 (H30/12/21)		串田賢一
	6278668 (R2/8/11)	2019-108323 (R1/7/25)		佐藤博紀
意匠	1578913 (H29/5/19)	2013-023371 (H25/10/4)	塗り絵用紙	串田賢一

(2) 産業財産権 (共同出願)

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者	共有権者
特許	4444162 (H22/1/22)	2005-149471 (H17/5/23)	鋼材の熱処理方法および熱処理装置	八代浩二 清水誠司 鈴木大介	浅川熱処理(株) (株)丸真熱処理工業
	5217049 (H25/3/15)	2011-283032 (H23/12/26)	装飾的なニードルパンチ加工装置	吉村千秋 五十嵐哲也 古屋雅章	富士吉田商工会議所 山崎織物(株) (株)昭栄技研 山梨県織物整理(株) (有)富士ウィーブ
	5396579 (H25/11/1)	2007-530913 (H18/3/16)	酸化亜鉛薄膜の製造方法及び製造装置	今津千竹 萩原 茂 木島一広 阿部 治	山梨大学 (株)中家製作所
	6152520 (H29/6/9)	2014-094992 (H26/5/2)	ジャカード織物パターンの生成方法、装置およびプログラム	五十嵐哲也 秋本梨恵	山梨大学
	6302696 (H30/3/9)	2014-025174 (H26/2/13)	マグネシウム合金の表面処理方法	八代浩二 佐野正明 三井由香里 坂本智明	権田金属工業(株)
	6306437 (H30/3/16)	2014-113615 (H26/5/31)	縦型成膜装置	萩原 茂 河野 裕 早川 亮 星野昌子	山梨大学 (株)中家製作所
	674683 (R2/8/11)	2016-15779 (H28/1/29)	ジャカード織物多色織パターンの生成方法、装置およびプログラム	五十嵐哲也	山梨大学

種別	登録番号 (登録日)	出願番号 (出願日)	名称	発明者	共有権者
意匠	1611314 (H30/7/27)	2017-008220 (H29/3/30)	ブリーフケース	串田賢一 佐藤博紀	やまなし森の紙推進 協議会

(3) 産業財産権 (国際特許)

種別	登録番号 (登録日)	登録国	名称	発明者	共有権者
特許	US7744965B2 (H22/6/29)	米国	酸化亜鉛薄膜の製造方法及び製造装置	今津千竹 萩原 茂 木島一広 阿部 治	山梨大学 (株) 中家製作所
	1755154 (H23/2/16)	欧州			

(4) 産業財産権出願中 (県単独)

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者
特許	2019-057866 (H31/3/26)	2020-156654 (R2/10/1)	ワックス模型及びその作製方法	林 善永 神藤典一 宮川和博 小松利安 有泉直子
	2019-057867 (H31/3/26)	2020-156655 (R2/10/1)	ワックス模型の作製方法	林 善永 神藤典一 宮川和博 小松利安 有泉直子
	2020-176430 (R2/10/21)	—	手術器具	山田博之 阿部 治 西村通喜 高尾清利

(5) 産業財産権出願中 (共同出願)

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者	共有権者
特許	2018-042581 (H30/3/9)	2019-154275 (R1/9/19)	発酵ゆば食品	小松正和 木村英生 佐藤憲亮	ゆば工房五大
	2019-86340 (H31/4/26)	2020-180268 (R2/11/5)	白色革の製造方法	串田賢一 渡辺 誠	レオン・インターナショナル
	2020-12516 (R2/1/29)	2021-116395 (R3/8/10)	硬化性樹脂組成物、硬化体、セルロースナノファイバー材料、及びセルロースナノファイバー材料の製造方法	芦澤里樹	山梨大学

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者	共有権者
特許	2020-173626 (R2/10/14)	—	耐水紙の製造方法および耐水紙	芦澤里樹	(有) 山十製紙 身延町なかとみ和紙の里
	2021-006211 (R3/1/19)	—	磁気バレル研磨方法	林 善永 宮川和博 小松利安 有泉直子	山梨大学

(6) 産業財産権出願中 (国際特許)

種別	出願番号 (出願日)	公開番号 (公開日)	名称	発明者
特許	PCT/JP2019/ 17121 (H31/4/23)	W02020/ 217293 (R2/10/29)	光吸収発熱保温用複合体とその製造方法	上垣良信 阿部 治 塩澤佑一朗

3. 課題対応受託研究

企業が新技術・新製品の研究開発等をおこなう際に、実施が困難な課題について、専門知識を持つ職員が、センターの所有する設備や機器を利用し当該課題解決のために研究を行った。

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
件数	0	0	4	1	0	2	2	2	11

4. 業績発表

(1) 口頭発表（学会等）

題名	発表者氏名（所属）	発表学会名	会場	期日
山梨県産小麦ゆめかおりを用いた生パスタ麺の試作	樋口かよ・橋本卓也・長沼孝多・小嶋匡人（食品酒類・バイオ科）・小松正和（化学・燃料電池科）・木村英生（ワイン技術部）・有泉直子（食品酒類・研磨宝飾技術部）・望月和樹（山梨大学）	日本食品保蔵科学会 第70回大会	オンライン開催	R3/6/26
山梨県における県産小麦と県産パン酵母に関する研究開発とその普及	木村英生（ワイン技術部）	日本食品科学工学会 第68回年次大会 シンポジウム「地域食品研究のエクセレンス」	オンライン開催	R3/8/27
鋳造したマグネシウム合金の表面ひずみ分布測定	鈴木大介（工業材料科）・八代浩二（材料・燃料電池技術部）・佐野正明（機械技術部）・三井由香里（総合相談・連携推進科）	第55回X線材料強度に関するシンポジウム（X線材料強度部門委員会60周年記念）	日本材料学会 オンライン開催	R3/10/7～8
山梨県の日本酒の特徴と産業技術センターの支援について	長沼孝多（食品酒類・バイオ科）	日本応用糖質科学会 東日本支部ミニシンポジウム	山梨県立図書館 オンライン開催	R3/12/10
醸し発酵によるオレンジワインにおける原料品種の影響	小松正和（化学・燃料電池科）・佐藤憲亮・恩田匠（ワイン技術部）	日本ブドウ・ワイン学会 2021 甲府大会	オンライン開催	R3/12/3～6
VB法で育成したFe-Ga同柱単結晶の電気インピーダンス測定	泉聖志・大久保和彦・佐藤昌明（住友金属鉱山（株））・望月陽介（素材科）・八代浩二（材料・燃料電池技術部）	第69回応用物理学会春季学術講演会	青山学院大学相模原キャンパス オンライン開催	R4/3/22～26

(2) 口頭発表 (その他)

題名	発表者氏名 (所属)	発表学会名	会場	期日
自律移動ロボットへの取り組みについて	中込広幸 (システム開発科)	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 メカトロニクス分科会 第17回 地域交流ワークショップ	オンライン開催	R3/6/6
ポーラス金属材料の射出成形金型への適用	望月陽介 (素材料)	地域産業活性化人材育成事業 成果報告会	オンライン開催	R3/6/10
CMM 都市伝説：測定結果のソフトウェア依存症について	石黒輝雄 (機械技術部)	測定計測展 2021「精密測定機器、座標測定機セミナー」	東京ビッグサイト オンライン開催	R3/10/7
超高周波加熱による小径部品の高精度・極浅焼入れ技術	八代浩二 (材料・燃料電池技術部)	2021 年度 JST 新技術説明会	オンライン開催	R3/11/25
生産性向上のための IoT システム開発と成果普及活動について	永田靖貴・布施嘉裕 (システム開発科)	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロニクス部会 第19回組込み技術研究会	オンライン開催	R3/11/30
光吸収発熱保温繊維「VANAWARM®」の開発	宮澤航平 (製品開発科)	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会関東・東北地域連絡会 生産・測定技術研究会	オンライン開催	R3/12/10
ドローンを活用した庁舎の外壁等点検について	阿部純 (総務課)・布施嘉裕 (システム開発科)・功刀陽平 (資産活用課)	職員研修所 自治セミナー 自主研究発表会	オンライン開催	R4/1/25
山梨県産ワインの多様化・高品質化のための各種製造技術について	恩田匠 (ワイン技術部)	札幌国税局ワイン醸造技術研究会	札幌国税局	R4/1/27
射出成形金型のガス対策と金型洗浄法の研究	西村通喜・早川亮 (機械技術部)	一般社団法人ゴム協会 研究部会 金型研究分科会 第80回金型研究分科会	オンライン開催	R4/2/14
ワインをはじめとする県産農作物加工品の品質向上と開発	小松正和 (化学・燃料電池科)	第2回総理研研究員研修会	オンライン開催	R4/2/14

(3) ポスター発表 (学会等)

題名	発表者氏名 (所属)	発表学会名	会場	期日
山梨県産小麦全粒粉の製パン・製麺適性	樋口かよ・橋本卓也・長沼孝多・小嶋匡人 (食品酒類・バイオ科)・小松正和 (化学・燃料電池科)・木村英生 (ワイン技術部)・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部)・望月和樹 (山梨大学)	日本調理科学会 2021 年度大会	オンライン開催	R3/9/7~8
CNF 乳化を利用した耐水紙の開発	芦澤里樹・塩澤佑一朗 (化学・燃料電池科)・上垣良信・宮澤航平 (製品開発科)・笠井伸二 ((有)山十製紙)・望月秀一 (身延町西嶋和紙の里)	セルロース学会 第 28 回年次大会	オンライン開催	R3/9/30~10/1

(4) 研究論文掲載

題名	発表者氏名 (所属)	誌名	掲載巻・ページ
装身具用硬質金属の磁気バレル研磨に関する研究 第1報: 水流が加工性能に及ぼす影響	林善永 (企画・情報科)・宮川和博 (研磨・宝飾科)・小松利安 (機械技術部)・有泉直子 (食品酒類・研磨宝飾技術部)・平晋一郎 (山梨大学)	砥粒加工学会誌	Vol. 65, No. 7, pp378-383 (2021)
マスカットベリーA の压榨過程の成分推移	恩田匠 (ワイン技術部)・小嶋匡人・長沼孝多 (食品酒類・バイオ科)	日本食品科学工学会誌	Vol. 68(5), pp212-215 (2021)
‘甲州’ と ‘シャルドネ’ を原料として伝統的压榨方法で調整した分画果汁の成分比較	恩田匠 (ワイン技術部)・小松正和 (化学・燃料電池科)・中山忠博 (元ワイン技術部)	日本食品保蔵科学会誌	Vol. 47(3), pp145-152 (2021)
Adsorption characteristics of vanadium ion on wool, and photothermal conversion and heat transfer of vanadium-treated wool depending on humidity	上垣良信・宮澤航平 (製品開発科)・佐藤哲也 (山梨大学)・塩澤佑一朗 (化学・燃料電池科)・安永秀計 (京都工芸繊維大学)	Journal of Fiber Science and Technology	Vol. 78, No. 3, pp48-58(2022)
非平面円柱形状試験片における硬質アルマイトの往復運動平面摩擦試験	塩澤佑一朗・三神武文 (化学・燃料電池科)・三井由香里 (総合相談・連携推進科)・八代浩二 (材料・燃料電池技術部)	表面技術	Vol. 72, No. 11, pp631-636 (2021)
Reinforcement of bio-based network polymer with wine pomace	森長久豊・埴原俊介 (山梨大学)・芦澤里樹 (化学・燃料電池科)	Polymer Composites	Vol. 42, Issue6, pp2973-2981 (2021)

(5) その他記事掲載

題名	発表者氏名 (所属)	誌名	掲載巻・ページ
燃料電池評価装置の測定信頼性の向上に関する研究 (第2報)	清水章良・平川寛之・中村卓 (電子応用科)	月刊 JETI	Vol. 69, No. 7, pp52-56 (2021)
山梨県内の農産廃棄物からの CNF 調製と県内企業・大学との共同研究事業	芦澤里樹 (化学・燃料電池科)	セルロースナノファイバー研究と実用化の最前線	第2編, 第2章, 第7節, pp483-491
プラスチック射出成形金型のシボ面に対する超臨界流体中洗浄の効果	早川亮 (機械技術部)	型技術	第36巻, 第8号, 通巻453号, pp74-77
超促進耐候性試験機により紫外線照射を行ったプラスチック材料の劣化と変色の解析	尾形正岐 (機械電子科)	高分子材料の劣化・変色対策	第7章, 第8節, pp485-495
シリーズ・新・地方発バイオイノベーションの進展と機能性食素材開発「山梨県産業技術センターの食品酒類バイオ分野に関する取り組み」	長沼孝多 (食品酒類・バイオ科)	FOOD Style 21	Vol. 25, No. 12, 通巻295号, pp32-35
研究トピックス (最近の研究成果) (新規大豆発酵食品の開発)	食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科	食品の試験と研究	第56号, p62
山梨県産業技術センターにおける水素・燃料電池に関する取り組み	三神武文 (化学・燃料電池科)	日本における燃料電池の開発 2021 Fuel Cell RD & D in Japan 2021	pp48-49 (2021)
プラスチック射出成形におけるガス対策に関する研究	西村通喜 (機械技術部)・阿部治 (工業材料科)	型技術	Vol. 37, No. 2, pp80-83 (2022)
びん内発酵法によるスパークリングワインと発泡性清酒	恩田匠 (ワイン技術部)	酒うつわ研究	22/ II 巻, pp8-11 (2022)
ワインの変敗 フェノレ	恩田匠 (ワイン技術部)	ワイン醸造技術	pp349-358 (2022)
デジタルジャカード技術で進化する郡内織物	五十嵐哲也 (繊維技術部)	山梨総合研究所 News Letter (web)	Vol. 280-1
2021年度日本ワインコンクール中止について	恩田匠 (ワイン技術部)	日本ブドウ・ワイン学会誌	Vol. 32(3), pp131-132 (2021)

人材育成業務

1. 出前技術講座

(1) 講座一覧

※受講者数 () はオンライン参加

	講座	実施日	担当	受講者数
1	ウイスキーの官能評価方法に関する勉強会	R3/4/27	食品酒類・バイオ科	4 (0)
2	金属材料の機械試験	R3/5/28	工業材料科	8 (0)
3	甲州産ワインの歴史と特性	R3/6/15	ワイン技術部	42 (0)
4	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第1回 Raspberry Pi 開発環境構築	R3/7/7	システム開発科	4 (0)
5	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第2回 GPIO 制御	オンデマンド (R3/7/7～ 11/30)	システム開発科	4 (4)
6	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第3回 センサデータ取得技術	オンデマンド (R3/7/7～ 11/30)	システム開発科	4 (4)
7	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第4回 PLC データ取得・制御技術	オンデマンド (R3/7/7～ 11/30)	システム開発科	4 (4)
8	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第5回 データ活用技術	オンデマンド (R3/7/7～ 11/30)	システム開発科	4 (4)
9	富士技術支援センター 機械電子関係の研究紹介	R3/7/15	機械電子技術部	31 (13)
10	磁歪材料を用いた振動発電について	R3/7/18	材料・燃料電池技術部	15 (15)
11	県産ワインの普及	R3/7/19	ワイン技術部	17 (0)
12	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第6回 Raspberry Pi による PLC 制御技術	R3/7/26	システム開発科	4 (0)
13	微生物の基礎および食品の微生物試験の意義	R3/8/3	食品酒類・バイオ科	4 (4)
14	AI と画像処理	R3/9/3	電子応用科	20 (0)
15	深層学習プログラミング入門	R3/9/13	システム開発科	28 (0)
16	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第1回 Raspberry Pi 開発環境構築	R3/9/30、 10/13、10/20	システム開発科	9 (0)
17	基板設計入門 第1回「回路図シンボルの作成」	R3/10/1	システム開発科	18 (18)
18	PLC 入門 第1回「シーケンス制御の基礎知識」	R3/10/5	システム開発科	18 (18)

	講座	実施日	担当	受講者数
19	基板設計入門 第2回「フットプリントの作成」	R3/10/8	システム開発科	18 (18)
20	PLC 入門 第2回「ラダープログラムの設計手法」	R3/10/12	システム開発科	18 (18)
21	基板設計入門 第3回「電子回路設計」	R3/10/15	システム開発科	18 (18)
22	山梨ハタオリ産地の歴史とブランディング活動	R3/10/18	技術支援科	20 (20)
23	基板設計入門 第4回「基板レイアウト設計」	R3/10/22	システム開発科	18 (18)
24	山梨のハタオリ産業を支援する技術開発と情報発信	R3/10/25	技術支援科	200 (0)
25	基板設計入門 第5回「ガーバーデータ作成・基板発注手順」	R3/10/29	システム開発科	18 (18)
26	微生物検査の基礎	R3/11/11	食品酒類・バイオ科	4 (0)
27	産業技術センターで実施している業務について	R3/11/19	食品酒類・バイオ科	21 (0)
28	山梨地域課題特論	R3/11/19	技術支援科	12 (0)
29	ファッションと持続可能性 2021	R3/11/20	技術支援科	69 (0)
30	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第7回 オンラインストレージ活用した IoT システム構築	オンデマンド (R3/7/7～ 11/30)	システム開発科	4 (4)
31	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第8回 SNS を活用した通知システム構築	オンデマンド (R3/7/7～ 11/30)	システム開発科	4 (4)
32	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第9回 クラウドサービスを活用した対話型システム構築①	オンデマンド (R3/7/7～ 11/30)	システム開発科	4 (4)
33	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第10回 クラウドサービスを活用した対話型システム構築②	オンデマンド (R3/7/7～ 11/30)	システム開発科	4 (4)
34	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第11回 統合 IoT システム構築	オンデマンド (R3/7/7～ 11/30)	システム開発科	4 (4)
35	山梨県産業技術センターワイン技術部の研究から～スパークリングワイン研究を中心に～	R3/12/3	ワイン技術部	18 (0)
36	3D 加工技術に関する設備の見学実習①	R3/12/8	機械技術部	7 (0)
37	3D 加工技術に関する設備の見学実習②	R3/12/8	デザイン技術部	7 (0)
38	地域のチャレンジ 織物	R3/12/22	技術支援科	20 (0)

	講座	実施日	担当	受講者数
39	めっき不良事例紹介と話題提供	R3/12/23	化学・燃料電池科	17 (0)
40	山梨県産ワインの多様化・高品質化のための各種醸造技術について	R4/1/27	ワイン技術部	17 (0)
41	産業技術センターにおけるセルロースナノファイバー研究の紹介	R4/2/17	化学・燃料電池科	12 (0)
42	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第 2 回 GPIO 制御	オンデマンド (R3/9/30～ R4/3/9)	システム開発科	9 (9)
43	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第 3 回 センサデータ取得技術	オンデマンド (R3/9/30～ R4/3/9)	システム開発科	9 (9)
44	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第 4 回 PLC データ取得・制御技術	オンデマンド (R3/9/30～ R4/3/9)	システム開発科	9 (9)
45	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第 5 回 データ活用技術	オンデマンド (R3/9/30～ R4/3/9)	システム開発科	9 (9)
46	郡内織物産地の概要について	R4/2/25	技術支援科	56 (56)
47	スパークリングワイン製造法	R3/3/7	ワイン技術部	40 (20)
48	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第 6 回 Raspberry Pi による PLC 制御技術	R4/3/9	システム開発科	5 (0)
49	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第 7 回 オンラインストレージ活用した IoT システム構築	オンデマンド (R3/9/30～ R4/3/9)	システム開発科	9 (9)
50	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第 8 回 SNS を活用した通知システム構築	オンデマンド (R3/9/30～ R4/3/9)	システム開発科	9 (9)
51	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第 9 回 クラウドサービスを活用した対話型システム構築①	オンデマンド (R3/9/30～ R4/3/9)	システム開発科	9 (9)
52	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第 10 回 クラウドサービスを活用した対話型システム構築②	オンデマンド (R3/9/30～ R4/3/9)	システム開発科	9 (9)
53	生産性向上のための IoT 活用技術 yisPIP オンデマンドセミナー 第 11 回 統合 IoT システム構築	オンデマンド (R3/9/30～ R4/3/9)	システム開発科	9 (9)
54	サンチカンマッチのための郡内産地ガイド	R4/3/18	技術支援科	8 (0)

※) 派遣先企業は、企業の事業情報につき表示しておりません。

(2) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (講座数)	0 (0講座)	33 (4講座)	313 (31講座)	52 (4講座)	7 (1講座)	7 (1講座)	134 (5講座)	385 (7講座)	31 (1講座)	962 (54講座)

2. ものづくり人材育成研修

(1) 通年

※受講者数 () はオンライン参加

	講座名	講師	担当	実施日	受講者数
1	異物分析実習 (実習)	センター職員	化学・燃料電池科	R3/7/21	4 (0)
2	プロダクトデザインとその背景—発想とものづくりの可能性— (第1回) (実習)	客員研究員 大沼敦	デザイン技術部	R3/7/26	3 (0)
3	幾何公差の図示と解釈の基本 (座学)	客員研究員 中村哲夫	機械電子技術部	R3/7/28	4 (0)
4	ライフスタイルの変化とテキスタイルデザイン① (座学)	客員研究員 家安香	繊維技術部	R3/7/29	14 (0)
5	プロダクトデザインとその背景—発想とものづくりの可能性— (第2回) (実習)	客員研究員 大沼敦	デザイン技術部	R3/8/2	3 (0)
6	ノギス・マイクロメータの基礎 (実習)	センター職員	機械技術部	R3/9/15	5 (0)
7	SEM/EDSによる元素分析の基礎 (実習)	センター職員	機械電子技術部	R3/10/5	2 (0)
8	基礎から学ぶ構造解析 (実習)	サイバネット (株)	機械技術部	R3/10/6	7 (0)
9	ライフスタイルの変化とテキスタイルデザイン② (座学)	客員研究員 家安香	繊維技術部	R3/10/11	12 (0)
10	画像処理の基礎 (実習)	センター職員	電子応用科	R3/10/12	4 (1)
11	ライノセラスで宝飾品モデリング①～Rhino7の新機能～ (実習)	(株) アプリクラフト	デザイン技術部	R3/10/13	6 (0)
12	ライノセラスで宝飾品モデリング②～グラスホッパー入門～ (実習)	(株) アプリクラフト	デザイン技術部	R3/10/14	5 (0)
13	機械組立の不良ゼロを実現する最大実体公差方式 (実習)	客員研究員 中村哲夫 センター職員	機械技術部	R3/10/15	1 (0)
14	ビッグデータ利活用のためのデータマイニング入門 (座学)	公立諏訪東京理科大学 工学部 情報応用工学科 教授 石井一夫	研磨・宝飾科	R3/10/18	9 (9)

講座名	講師	担当	実施日	受講者数
15 製品設計のための実験計画法 (実習)	(株) 産業革新研究所 ファウンダー/アドバイザー 熊坂治	工業材料科	R3/10/21	9 (9)
16 三次元座標測定機のオペレータのための測定実習 (実習)	客員研究員 中村哲夫 センター職員	機械電子技術部	R3/10/22	6 (0)
17 故障を未然に防ぐポータブル非破壊応力測定 (座学)	パルステック工業 (株) 技術部 X線応用装置課 内山宗久	工業材料科	R3/11/25	7 (0)

(2) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (講座数)	—	9 (1講座)	4 (1講座)	20 (3講座)	13 (3講座)	17 (4講座)	—	26 (2講座)	12 (3講座)	101 (17講座)

3. IoT製品関連分野進出支援事業

※受講者数 () はオンライン参加

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
システム開発科	第1回 高度技術者の人材育成研修 「信頼性評価技術とIoT製品開発能力の向上を目的としたIoT活用のためのデータベース入門研修」	老圓慶ロボット研究所 所長 老圓慶	R3/9/8	8 (8)
	第2回 高度技術者の人材育成研修 「信頼性評価技術とIoT製品開発能力の向上を目的としたIoT活用のためのデータ分析入門」	老圓慶ロボット研究所 所長 老圓慶	R3/9/15	8 (4)
	第3回 高度技術者の人材育成研修 「環境試験器を用いた電子製品 (IoT製品含む) の信頼性評価入門」	エスベック (株) 開発本部 技術開発部 部長 青木雄一	R3/12/1	6 (3)
	第4回 高度技術者の人材育成研修 「電子製品 (IoT製品含む) のための冷熱衝撃試験器利用セミナー」	日立ジョンソンコントロールズ空調 (株) アプライド製品営業・サポート部 サポートG 富田雅志	R4/2/4	8 (8)

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
システム開発科	第5回 高度技術者の人材育成研修 「電子製品（IoT 製品含む）のための信頼性の基礎とワイブル分析入門」	エスペック（株） 開発本部 技術開発部 部長 青木雄一	R4/2/8	15 (15)
機械技術部	第6回 高度技術者の人材育成研修 「赤外線サーモカメラを用いた電子製品（IoT 製品含む）の信頼性評価」	日本アビオニクス（株） 小泉敦資 山崎亮	R4/2/18	4 (4)
システム開発科	第7回 高度技術者の人材育成研修 「IoT 機器を含めた製品開発のための画像処理基礎」	山梨大学 大学院総合研究部 工学域機械工学系（メカトロニクス工学） 教授 小谷信司	R4/3/1	15 (15)
	第8回 高度技術者の人材育成研修 「IoT 機器を含むシステム開発事例」	山梨大学 大学院総合研究部 工学域機械工学系（メカトロニクス工学） 准教授 渡辺寛望	R4/3/8	11 (11)

4. 日本酒等品質強化支援事業

※受講者数（）はオンライン参加

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
食品酒類・バイオ科	技術力醸成事業 先進地見学会（※オンラインにより実施）	福島県ハイテックプラザ会 津若松技術支援センター 副所長 鈴木賢二	R3/8/11	20 (12)
	技術力醸成事業 交流会 「日本酒用ビンの近年の傾向」	きた産業（株） 代表取締役 喜多常夫	R3/9/8	15 (10)
	技術力醸成事業 交流会 食品表示講習会 「食品添加物表示制度の検討状況について」	客員研究員 蒲生恵美	R4/3/18	61 (56)
	人材育成事業 評価技術セミナー（座学） 「液体クロマトグラフ質量分析装置の活用について」	（株）島津製作所 分析計測事業部 営業統括部 関西支社営業部 主任 服部考成	R4/3/23	14 (9)
	人材育成事業 評価研修（実習） 「令和3年度導入機器・液体クロマトグラフ質量分析装置の使用方法」	センター職員		

5. 講習会・研修会

(1) 講座一覧

企画連携推進部

※受講者数 () はオンライン参加

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
企画・情報科	第1回オープンイノベーション共創チャレンジ in 山梨 「オープンイノベーション・マッチングスクエア (OIMS) の紹介」	関東経済産業局 産業技術革新課 係長 中村遼太	R3/11/4	54 (23)
	第1回オープンイノベーション共創チャレンジ in 山梨 「製造業向け IoT サービス OMNledge の現状とこれからの進化」	THK (株) IoT イノベーション本部 課長 高野修一		
	第1回オープンイノベーション共創チャレンジ in 山梨 「グローバルニッチトップの精密 FA 設備メーカーから、時代の変革に対応し、顧客の期待を創造し続ける、協業モデルのご提案」	NITTOKU (株) 代表取締役 近藤進茂		
	第1回オープンイノベーション共創チャレンジ in 山梨 「野菜品質評価指標 (デリカスコア) を基盤としたスマートフードチェーン構築のための技術ニーズ」	デリカフーズ (株) 事業統括本部 品質保証室長 有井雅幸		
	第1回オープンイノベーション共創チャレンジ in 山梨 「共創における連携戦略・競争戦略とそのポイント」	東京大学協創プラットフォーム開発 (株) パートナー 福島彰一郎		
	第2回オープンイノベーション共創チャレンジ in 山梨 「オープンイノベーションの必要性と事例のご紹介」	リンカーズ (株) 取締役 加福秀互		
第2回オープンイノベーション共創チャレンジ in 山梨 「シャープが進めるオープンイノベーション」	シャープ (株) 研究開発事業本部 部長 金丸和生			
第2回オープンイノベーション共創チャレンジ in 山梨 「「みなとみらい」からの船出。京セラ R&D のオープンイノベーション」	京セラ (株) 研究開発本部 オープンイノベーション 推進部 責任者 大崎哲広			

食品酒類・研磨宝飾技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
食品酒類・バイオ科	食品表示に関する講習会 「食品等のリコール情報の報告制度」	客員研究員 蒲生恵美	R3/7/2	35 (26)
	食品開発講習会 技術講座 「ジャムを例とした賞味期限の設定について」	センター職員	R3/11/15	29 (11)
	食品開発講習会 技術講座 「多機能糖質素材「環状イソマルトオリゴ糖」」	山梨大学 生命環境学部 地域食物科学科 教授 舟根和美		
	食品表示に関する講習会 「加工食品の原料原産地表示制度」	客員研究員 蒲生恵美	R3/11/26	35 (33)
	食品の情報発信に関する講習会 「事故を事件化させないために～情報の伝え方に関する一考察～」	客員研究員 蒲生恵美	R4/1/28	14 (14)
研磨・宝飾科	技術講習会 「ビッグデータ利活用のためのデータモデリング入門」	公立諏訪東京理科大学 工学部 情報応用工学科 教授 石井一夫	R3/11/9	16 (16)

電子・システム技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
電子応用科	電子応用技術セミナーⅠ 「受動部品を使ったノイズ対策」	ウルト・エレクトロニクス・ジャパン(株) フィールドアプリケーションエンジニア 廣田大輔	R3/12/14	32 (26)
	電子応用技術セミナーⅡ 「電子デバイス産業における静電気対策」	シシド静電気(株) 営業本部 営業企画室 室長 山口晋一	R4/2/9	26 (26)
システム開発科	電子技術講習会 オンデマンド型(オンライン併用)講習会 「生産性向上のためのIoT活用技術 第1回 Raspberry Pi 開発環境構築」	センター職員	R3/5/10 ～14	29 (0)
	情報技術講習会 オンデマンド型(オンライン併用)講習会 「生産性向上のためのIoT活用技術 第2回 GPIO 制御」		R3/5/18	29 (29)
	情報技術講習会 オンデマンド型(オンライン併用)講習会 「生産性向上のためのIoT活用技術 第3回 センサデータの取得技術」		R3/5/25	29 (29)

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
システム開発科	情報技術講習会 オンデマンド型（オンライン併用）講習会 「生産性向上のための IoT 活用技術 第 4 回 PLC データ取得・制御技術」	センター職員	R3/6/1	29 (29)
	情報技術講習会 オンデマンド型（オンライン併用）講習会 「生産性向上のための IoT 活用技術 第 5 回データ活用技術」		R3/6/8	29 (29)
	情報技術講習会 オンデマンド型（オンライン併用）講習会 「生産性向上のための IoT 活用技術 第 7 回オンラインストレージ活用した IoT システム構築」		R3/6/22	29 (29)
	情報技術講習会 オンデマンド型（オンライン併用）講習会 「生産性向上のための IoT 活用技術 第 8 回 SNS を活用した通知システム構築」		R3/6/29	29 (29)
	情報技術講習会 オンデマンド型（オンライン併用）講習会 「生産性向上のための IoT 活用技術 第 9 回クラウドサービスを活用した対話型システム構築①」		R3/7/6	29 (29)
	情報技術講習会 オンデマンド型（オンライン併用）講習会 「生産性向上のための IoT 活用技術 第 6 回 Raspberry Pi による PLC 制御技術」		R3/7/8 ～8/4	29 (5)
	情報技術講習会 オンデマンド型（オンライン併用）講習会 「生産性向上のための IoT 活用技術 第 10 回クラウドサービスを活用した対話型システム構築②」		R3/7/13	29 (29)
	情報技術講習会 オンデマンド型（オンライン併用）講習会 「生産性向上のための IoT 活用技術 第 11 回クラウドサービスを活用した対話型システム構築③」		R3/7/20	29 (29)
	情報技術講習会 オンデマンド型（オンライン併用）講習会 「生産性向上のための IoT 活用技術 第 12 回先行支援企業による visPIP 事例紹介」		R3/7/27	29 (29)

材料・燃料電池技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
工業材料科	材料技術講習会 「ボイラ・圧力容器の溶接規格 ASME BPVC Section IX の解説-溶接施工法と作業者の資格認定を中心に-」	笹口技術士事務所 所長 笹口裕昭	R4/3/1	11 (11)
	材料技術講習会 「腐食のメカニズムとその対策」	(公社) 腐食防食学会 腐食センター 元(国研)物質・材料研究機構 篠原正	R4/3/8	31 (27)
化学・燃料電池科	セルロースナノファイバー講習会 「ウォータージェット法により得られた CNF の応用事例」	(株) スギノマシン 峯村淳	R3/12/22	15 (15)
	セルロースナノファイバー講習会 「化学前処理により得られた CNF の応用事例」	第一工業製薬(株) 後居洋介		
	表面技術講習会 「めっき技術の基礎と応用-各種めっき、皮膜評価、不良対策-」	ソノヤラボ(株) 園家啓嗣	R4/1/20	24 (18)

機械技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
技術講習会 金属加工用潤滑剤セミナー 「水溶性切削油剤の上手な使い方」	ユシロ化学工業(株) 原田辰巳 山田智和	R3/12/17	16 (0)
技術講習会 (公財) JKA 補助事業導入機器 「CNC 画像測定機の概要と活用事例の紹介」	(株) ニコンソリューションズ 産業機器営業本部 東日本営業部 柴田秀和	R4/2/15	7 (7)

デザイン技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
繊維情報技術講習会 「繊維素材への光吸収発熱保温性付加技術とその技術を使った製品化事例の紹介」	フジチガラ(株) 代表取締役社長 加藤誠 センター職員	R4/2/10	中止
セルロース技術講習会 「中小企業の為の本質的な魅力の伝え方～伝えたい相手に届ける泥臭い広報戦略～」	きっかけデザイン研究所 共同代表 白井秀典	R4/2/17	12 (6)
デザイン技術講習会 「日本人にとってのデザイン思考～人に寄り添い、解決する、誰にでもできる考え方～」	(株) KESIKI パートナー デザインディレクター 石川俊祐	R4/2/22	21 (21)

講座名	講師	実施日	受講者数
デザイン技術講習会 「アート思考～自分だけの答えを見つける～」	美術教師 アーティスト 末永幸歩	R4/3/14	22 (22)

ワイン技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
ブレンドワイン官能評価会	センター職員	R3/5/19	中止
亜硫酸管理技術講習会	センター職員	R3/6/23	13 (0)

繊維技術部

担当	講座名	講師	実施日	受講者数
製品開発科	繊維技術講習会 「SDGs 導入入門セミナー」	(一財) ボーケン品質評価機構 東京認証・分析センター 鈴木佳澄	R4/1/21	12 (7)

機械電子技術部

講座名	講師	実施日	受講者数
講演会 (テクノネット「ふじざくら」との共催) 「実体験に基づく医療機器業界への新規参入のポイントと課題」	(株) 小幡計器製作所 代表取締役 小幡巖	R3/7/15	31 (13)
講演会 (テクノネット「ふじざくら」との共催) 「MDC 推進センターの事業概要と今後の方向性」	メディカル・デバイス・コ リドー推進センター 赤岸敬介	R3/7/15	31 (13)
講演会 (テクノネット「ふじざくら」との共催) 「自動車の電動化に伴う製造業への影響と車両生産に於ける技術課題」	慶應義塾大学 理工学部 システムデザイン工学科 教授 青山英樹	R3/12/15	38 (18)
講演会 (テクノネット「ふじざくら」との共催) 「協働ロボットの最新活用事例と導入のメリット」	ファナック (株) ロボット事業本部 滝澤克俊	R3/12/15	36 (19)
技術講習会 (公財) JKA 補助事業導入機器 (精密万能材料試験機) 「AGX-100kNV の機能紹介と強度評価方法」	(株) 島津製作所 分析計測事業部 グローバルアプリケーション 開発センター 垣尾尚史	R4/2/10	4 (4)

(2) 担当別実績

部	企画連携 推進部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (講座数)	105 (2講座)	129 (5講座)	406 (14講座)	81 (4講座)	23 (2講座)	55 (3講座)	13 (1講座)	12 (1講座)	140 (5講座)	964 (37講座)

6. 技術者研修

(1) テーマ一覧

研修テーマ		研修期間	受講者数	受入担当
1	illustrator および photoshop の使用方法習得	R3/5/14～8/31 (4日間)	5	デザイン技術部
2	織物基礎及び設計	R3/6/10～9/30 (16日間)	10	繊維技術部
3	illustrator および photoshop の使用方法習得	R3/10/18～11/30 (4日間)	2	デザイン技術部

※) 派遣元企業は、企業の事業情報につき表示しておりません。

(2) 担当別実績

部	食品酒類・ 研磨宝飾 技術部	電子・ システム 技術部	材料・ 燃料電池 技術部	機械 技術部	デザイン 技術部	ワイン 技術部	繊維 技術部	機械電子 技術部	合計
人数 (件数)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (2)	0 (0)	10 (1)	0 (0)	17 (3)

7. インターンシップ研修

研修テーマ		研修期間	受講者数	受入担当
1	1-Day インターンシップ	R3/9/13 (1日間)	2	電子・システム技術部

8. その他

高等学校課題研究サポート

県立吉田高等学校が実施する、同校理数科生徒を対象とした課題研究をサポートした。

○テーマ : 「メラミン樹脂を用いた繊維製品の機能性加工」

○実施日 : 令和3年7月27日、8月2日

○参加人数 : 3名

情報提供業務

1. 研究成果発表

- (1) 産業技術センター研究成果紹介（研究報告書等資料及び動画配信）
 - ・公開日：令和4年2月28日～3月18日
 - ・発表：26テーマ（※動画配信は令和2年度終了の14テーマのみ）
- (2) やまなし産学官連携研究交流事業（動画配信）
 - ・公開日：令和3年10月29日～令和4年3月31日
 - ・発表：14テーマ

2. 刊行物の発行

- (1) 研究成果速報
 - ・発行日：令和3年5月17日
 - （※令和3年度よりHPへの掲載のみ）
- (2) 年報（令和2年度）
 - ・発行日：令和3年7月1日
 - ・発行部数：400部
- (3) 研究報告（令和2年度 No.04号）
 - ・発行日：令和3年9月30日
 - ・発行部数：400部
- (4) センターニュース
 - ・発行部数：各1,500部
 - ①センターニュースVol.13
 - ・発行日：令和3年6月30日
 - ②センターニュースVol.14
 - ・発行日：令和3年10月29日
 - ③センターニュースVol.15
 - ・発行日：令和4年2月28日
- (5) デザイン情報紙 DESIGN YAMANASHI Vol.44～49
 - ものづくりのアイデアの誘因を目的として、ポストカードの形式で情報紙を年間6回発行
 - ・発行日：令和3年6月～令和4年3月
 - ・発行部数：各1,600部

3. センター利用の手引きおよびメールマガジンの発行

- (1) センター利用の手引き：適宜発行
- (2) メールマガジン
 - ・発行回数：34回（No.21-001～034）
 - ・内容：講習会・研修会案内、設備機器案内等

4. その他

(1) ホームページによる情報提供

センターの研究や設備を紹介したプロポーザルページを作成：6回
(<https://www.pref.yamanashi.jp/yitc/>)

(2) 甲斐絹ミュージアムホームページによる情報発信

郡内織物産地のルーツ、山梨県が誇る伝統織物『甲斐絹』を紹介
(<https://www.pref.yamanashi.jp/kaiki/>)

(3) ブログ・フェイスブック「シケンジョテキ」による情報発信

富士技術支援センターに所蔵するビンテージテキスタイルをはじめ、産地企業の職人や技の魅力などを紹介

(ブログ <https://www.shikenjyo.blogspot.jp>)

(フェイスブック <https://www.facebook.com/シケンジョテキ-969866283101120>)

発信数：ブログ 21 回、フェイスブック 19 回

(4) 公報・書籍・学会誌収集

区分	内容
書籍類	工学・デザイン専門誌（学会誌 30、協会誌 16、その他 47 合計 93 種 [購入・寄贈]） 工学・デザイン専門書（購入 148 冊、寄贈 21 冊 合計 169 冊）
研究報告	国・大学・公設試（57 種）
各種情報	JIS、法規集（23 種）、新聞（20 種）、国・公設試ニュース、その他

(5) YAMANASHI DESIGN ARCHIVEの運用

山梨県に伝わる過去の優れた物品の造形や模様、自然から得られる色彩、今に伝わる昔話・伝説を産業上で使用することのできるデザインソースとしてデジタル化して配信

(<https://design-archive.pref.yamanashi.jp/>)

・掲載デザインソース数 1,111 点（内訳：形状 104 点／模様 365 点／色彩 148 点／昔話 494 点）

・デザインソース使用実績 計 40 点

技術交流

1. 研究機関連絡会議

会議名	期日	会場	出席者		
第62回産業技術連携推進会議 総会	R4/2/9	オンライン開催	初鹿野晋一		
産業技術連携推進会議					
情報通信・エレクトロニクス部会					
第17回地域交流ワークショップ	R3/6/6	オンライン開催	中込広幸		
組込み技術研究会・幹事会	R3/9/6	オンライン開催	永田靖貴		
第19回組込み技術研究会	R3/11/30	オンライン開催	永田靖貴	布施嘉裕	
情報技術分科会 第14回音・振動研究会	R3/10/28~29	オンライン開催	石黒輝雄	坂本智明	
製造プロセス部会					
精密微細加工分科会 第2回積層造形研究会	R3/11/18~19	山梨県立図書館 (ハイブリッド開催)	佐野正明 小松利安 坂本智明 萩原義人	石黒輝雄 早川 亮 鈴木大介 寺澤章裕	西村通喜 米山 陽 長田和真 古屋雅章
ライフサイエンス部会					
第28回デザイン分科会	R3/6/10	オンライン開催	串田賢一	鈴木文晃	佐藤博紀
第29回デザイン分科会	R3/11/11~12	まつもと市民芸術館	佐藤博紀		
ナノテクノロジー・材料部会					
繊維分科会 総会	—	書面開催	—		
繊維分科会 関東・東北地域部会 総会	—	書面開催	—		
繊維分科会 デザイン研究会	R3/11/25~26	兵庫県立工業技術センター 繊維工業技術支援センター	秋本梨恵		
繊維分科会 繊維技術研究会	R3/12/10	オンライン開催	望月威夫	上垣良信	宮澤航平
繊維分科会 生産・測定研究会	—	書面開催	—		
繊維分科会 幹事会	—	書面開催	—		
2021年度素材分科会 総会	R3/11/8	オンライン開催	石田正文		
知的基盤部会					
総会	—	書面開催	—		
計測分科会 温度・熱研究会	—	オンライン開催	—		
計測分科会 形状計測研究会	R3/12/9	オンライン開催	早川 亮 古屋雅章	米山 陽 望月陽介	萩原義人
光放射計測研究会	—	書面開催	—		
分析分科会	—	書面開催	—		
第25回電磁環境分科会	—	書面開催	—		
電磁環境分科会 第19回関東甲信越静EMC研究 交流会およびMTEP EMCパートナーグループ会	R4/1/14	オンライン開催	中村 卓		
関東甲信越静地域部会					
関東甲信越静地域産業技術連携推進会議及び 関東甲信越静地域部会合同総会	R3/10/29	オンライン開催	初鹿野晋一	山田博之	
企画調整分科会 (第2回)	R3/4/28	オンライン開催	山田博之		
企画調整分科会 (第3回)	R3/7/8	〃	山田博之		
企画調整分科会 (第4回)	R3/8/23	〃	山田博之		
関東技術交流分科会 幹事会 (第1回)	R4/1/26	オンライン開催	山田博之	林 善永	
第1回関東技術交流分科会	R4/3/16	オンライン開催	岩間貴司	山田博之	
計測技術研究会	—	書面開催	—		
食品・バイオ分科会 総会 (第1回)	R3/5/26	書面開催	—		
食品・バイオ分科会 総会 (第2回)	R3/8/20	〃	—		
首都圏公設試連携会議 (TKF)					
第61回首都圏公設試連携推進会議	R3/10/22	オンライン開催	初鹿野晋一	山田博之	宮川理恵
2021年度JST新技術説明会	R3/11/25	オンライン開催	八代浩二		
広域首都圏輸出製品技術センター (MTEP)					
第1回 広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP) 連携会議	R3/10/22	オンライン開催	初鹿野晋一	山田博之	宮川理恵
地域未来投資の活性化のための基盤強化事業 (農業IoT)					
令和3年度 4県連絡委員会	R3/12/1	オンライン開催	山田博之	宮本博永	

会議名	期日	会場	出席者		
公立鉦工業試験研究機関長協議会					
第94回公立鉦工業試験研究機関長協議会総会	—	書面開催	—		
第112回全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議	—	書面開催	—		
令和3年度全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議 関東甲信越ブロック会議	—	書面開催	—		
令和3年度関東甲信越地区食品醸造研究会	R3/7/21	オンライン開催	木村英生	尾形美貴	
全国食品関係試験研究場所長会 令和3年度第1回臨時総会	—	メール開催	—		
第6回地方公設試験研究機関金属AM技術担当者会議	R4/2/16	オンライン開催	鈴木大介	早川 亮	萩原義人
			寺澤章裕	古屋雅章	
全国食品関係試験研究場所長会 令和4年度定期総会等	R4/3/4	オンライン開催	恩田 匠		

2. 学会等の会議

会議名	期日	開催場所	出席者		
第88回紙パルプ研究発表会	R3/6/23～24	オンライン開催	芦澤里樹		
日本食品保蔵科学会 第70回大会	R3/6/26	オンライン開催	木村英生	樋口かよ	
日本乳酸菌学会 2021年度大会	R3/7/9～10	オンライン開催	恩田 匠		
日本食品科学工学会 第68回年次大会	R3/8/27～28	オンライン開催	木村英生		
第70回高分子討論会	R3/9/6～8	オンライン開催	三神武文		
日本調理科学会 2021年度大会	R3/9/7～8	オンライン開催	樋口かよ		
(一社)日本鉱物科学会2021年年会・総会	R3/9/16～18	オンライン開催	佐藤貴裕		
セルロース学会 第28回年次大会	R3/9/30～10/1	オンライン開催	芦澤里樹		
令和3年度日本醸造学会大会	R3/10/1～7	オンライン開催	恩田 匠	佐藤憲亮	
(公社)日本材料学会 第55回X線材料強度に関するシンポジウム (X線材料強度部門委員会60周年記念)	R3/10/7～8	日本材料学会	鈴木大介	八代浩二	
日本食品科学工学会 東北支部大会	R3/11/6	オンライン開催	恩田 匠		
日本食品科学工学会 東北支部大会および北海道支部大会	R3/11/13	オンライン開催	恩田 匠		
令和3年度繊維学会秋季研究発表会	R3/11/18～19	オンライン開催	宮澤航平		
第1回日本酒学シンポジウム	R3/11/25	オンライン開催	恩田 匠		
電気加工学会全国大会 (2021)	R3/11/25～26	オンライン開催	佐野正明		
日本乳酸菌学会 設立30周年記念シンポジウム	R3/11/26～27	オンライン開催	恩田 匠		
第62回電池討論会	R3/11/30 ～12/2	オンライン開催	三神武文	小林 誉	
日本材料学会 第58回X線材料強度に関する討論会	R3/12/3～4	オンライン開催	八代浩二	鈴木大介	
令和3年度日本ブドウ・ワイン学会大会	R3/12/3～6	オンライン開催	恩田 匠	小松正和	佐藤憲亮
第144回型技術セミナー	R4/3/10	オンライン開催	佐野正明		
第72回日本木材学会大会 (名古屋・岐阜大会)	R4/3/15～17	オンライン開催	芦澤里樹		
電気化学会 第89回大会	R4/3/15～17	オンライン開催	三神武文	小林 誉	
2022年度精密工学会春季大会学術講演会	R4/3/15、3/17	オンライン開催	米山 陽	萩原義人	
2022年応用物理学会春期学術講演会	R4/3/22～26	オンライン開催	望月陽介		
第129回触媒討論会	R4/3/28～29	オンライン開催	三神武文		

3. 職員派遣

※中止・欠席は記載していません

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
産総研地域イノベーションコーディネータ事業						
山梨県-産総研の連携に係る連絡会議	R3/6/21	(国研)産業技術総合研究所	オンライン開催	岩間貴司	高尾清利	八代浩二
	R3/9/2	"	"	中村聖名		
	R3/11/15	"	"	岩間貴司	高尾清利	八代浩二
産総研との連携会議	R4/1/21	"	"	初鹿野晋一	岩間貴司	高尾清利
				八代浩二	中村聖名	
第9回地域イノベーションコーディネータ会議	R3/7/29	"	"	岩間貴司	高尾清利	
第10回地域イノベーションコーディネータ会議	R4/3/23	"	"	岩間貴司	高尾清利	八代浩二
第1回広域関東圏交流会	R3/7/29	"	"	岩間貴司	高尾清利	
第2回広域関東圏交流会	R4/3/23	"	"	岩間貴司	高尾清利	
第1回地域ICウェビナー	R3/5/19	"	"	岩間貴司	高尾清利	八代浩二
				中村聖名		
第2回地域ICウェビナー	R3/6/10	"	"	岩間貴司	高尾清利	八代浩二
				中村聖名		
第3回地域ICウェビナー	R3/9/28	"	"	岩間貴司	高尾清利	八代浩二
				中村聖名		
第4回地域ICウェビナー	R3/10/22	"	"	高尾清利	中村聖名	
第5回地域ICウェビナー	R3/11/11	"	"	高尾清利		
第6回地域ICウェビナー	R3/12/15	"	"	岩間貴司	高尾清利	八代浩二
第7回地域ICウェビナー	R4/2/25	"	"	岩間貴司	高尾清利	八代浩二
第1回関東経済局施策説明会	R3/7/9	"	"	岩間貴司	高尾清利	八代浩二
				中村聖名		
第2回関東経済局施策説明会	R3/11/8	"	"	岩間貴司	高尾清利	中村聖名
先端技術開発型中堅・中小企業の交流会	R3/11/19	"	UDX GALLERY	高尾清利		
山梨テクノICTメッセ2021						
第2回実行委員会	R3/9/28	山梨テクノICTメッセ2021実行委員会	アイメッセ山梨	岩間貴司		
オンライン展示会	R3/11/12 ~R4/2/28	"	オンライン開催	岩間貴司		
山梨みらいファンド事業審査会	R3/11/25	(公財)やまなし産業支援機構	アイメッセ山梨	佐野正明	渡辺 誠	
令和3年度 中小企業等外国出願支援事業						
第1回審査委員会	R3/7/8	(公財)やまなし産業支援機構	甲府技術支援センター	岩間貴司		
公益財団法人やまなし産業支援機構 設備貸与事業						
第1回審査委員会	R3/4/28	(公財)やまなし産業支援機構	アイメッセ山梨	長沼孝多		
第2回審査委員会	R3/5/28	"	甲府技術支援センター	長沼孝多		
第3回審査委員会	R3/6/29	"	アイメッセ山梨	長沼孝多		
第4回審査委員会	R3/7/30	"	"	長沼孝多		
第6回審査委員会	R3/9/29	"	"	長沼孝多		
第7回審査委員会	R3/10/29	"	"	長沼孝多		
第9回審査委員会	R3/11/30	"	"	長沼孝多		
第10回審査委員会	R3/12/24	"	"	長沼孝多		
第12回審査委員会	R4/3/3	"	"	長沼孝多		
山梨県発明協会理事会						
第1回理事会	—	(一社)山梨県発明協会	書面開催	初鹿野晋一		
第2回理事会	—	"	"	初鹿野晋一		
通常総会	—	"	"	初鹿野晋一		
発明表彰事業選考委員会	—	(一社)山梨県発明協会	書面開催	高尾清利		
山梨県ものづくり発明研究学会						
第1回オンライン研修会	R3/10/13	(一社)山梨県発明協会	オンライン開催	高尾清利		
第2回オンライン研修会	R3/12/9	"	"	高尾清利		
第3回オンライン研修会	R4/2/24	"	"	高尾清利		

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
令和3年度工業系高校生基幹産業担い手育成事業						
第1回担い手育成委員会	R3/4/15	教育委員会	甲府技術支援センター	佐野正明		
第2回担い手育成委員会	R3/5/6	"	"	佐野正明		
第3回担い手育成委員会	R3/10/7	"	"	佐野正明		
第4回担い手育成委員会	R4/1/20	"	"	佐野正明		
第1回連携推進委員会	R3/5/25	教育委員会	甲府技術支援センター	初鹿野晋一		
第2回連携推進委員会	R4/2/10	"	書面開催	初鹿野晋一		
甲府工業高校スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業						
第1回運営指導委員会	R3/6/4	教育庁高校教育課	甲府工業高等学校	初鹿野晋一		
成果発表会及び第2回運営指導委員会	R4/2/10	教育庁高校教育課	書面開催	初鹿野晋一		
山梨県研究推進委員会						
第1回研究推進会議	R3/5/14	山梨県総合理工学研究機構	オンライン開催	初鹿野晋一		
第2回研究推進会議	R3/9/22	"	甲府技術支援センター	初鹿野晋一		
第3回研究推進会議	R4/1/19	"	オンライン開催	初鹿野晋一		
第1回ワーキンググループ	R3/4/22	"	甲府技術支援センター	岩間貴司		
第2回ワーキンググループ	R3/9/10	"	オンライン開催	岩間貴司		
第3回ワーキンググループ	R3/12/21	"	"	岩間貴司		
第4回ワーキンググループ	R4/3/16	"	"	岩間貴司		
中小企業経営革新サポート事業「中小企業サポート連携拠点会議」						
第1回A会議	R3/4/20	(公財)やまなし産業支援機構	オンライン開催	三井由香里		
第2回A会議	R3/6/15	"	"	三井由香里		
第4回A会議	R3/10/19	"	"	林 善永		
第6回A会議	R4/2/15	"	"	三井由香里		
やまなしイノベーション創出事業費補助金						
令和3年度やまなしイノベーション創出事業費補助金（研究開発）検討会議	R3/6/14	成長産業推進課	オンライン開催	山田博之	中村聖名	
	R3/9/15	"	"	山田博之	中村聖名	
技能検定試験						
前期委嘱式および技能検定水準調整会議	R3/5/31	山梨県職業能力開発協会	中小企業人材開発センター	阿部 治	鈴木大介	
ダイカスト	R3/7/3	"	(株)メツ身延工場	鈴木大介		
	R3/7/17	"	ジャノメダイカスト(株)	鈴木大介		
	R3/7/31	"	ファナック(株)	鈴木大介		
金属熱処理	R3/8/29	"	中小企業人材開発センター	阿部 治		
後期委嘱式および技能検定水準調整会議	R3/12/1	"	中小企業人材開発センター	橋本卓也	小松利安	
機械・プラント製図	R4/1/23	"	(株)ミラプロ	小松利安		
機械・プラント製図	R4/1/26	"	中小企業人材開発センター	小松利安		
パン製造	R4/2/3～4	"	甲府技術支援センター	橋本卓也		
第61回水晶彫刻新作展						
審査会	R3/10/21	山梨県水晶美術彫刻協同組合	甲府市役所	清野 浩		
山梨県ジュエリーマスター認定制度						
第1回認定委員会	R3/4/16	産業振興課	宝石美術専門学校	清野 浩		
第2回認定委員会	R3/7/30	"	"	清野 浩		
第3回認定委員会	R3/9/29	"	"	清野 浩		
第1回試験実施委員会	R3/7/2	"	"	宮川和博	佐野照雄	鈴木文晃
認定試験	R3/9/27	"	"	宮川和博	佐野照雄	
	R3/9/28	"	"	佐野照雄		
	R3/9/29	"	"	清野 浩		
第45回「ボランティア・NPO 活動推進月間」ポスター図案審査会	R3/11/24	(福)山梨県社会福祉協議会	山梨県立やまなし地域づくり交流センター	鈴木文晃		
第19回富士さんへ謹賀新年～富士山あて年賀状～						
予備審査	R4/1/21	富士山憲章山梨県推進会議	富士山世界文化遺産センター	五十嵐哲也		
本審査	R4/1/28	"	"	秋本梨恵		

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者	
ハタオリマチのハタ印					
ハタオリマチのハタ印会議	R3/4/30	富士吉田市	オンライン開催	五十嵐哲也	秋本梨恵
	R3/5/14	"	"	五十嵐哲也	秋本梨恵
	R3/6/18	"	"	五十嵐哲也	秋本梨恵
	R3/9/24	"	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	秋本梨恵
	R3/11/26	"	"	五十嵐哲也	
R4/1/28	"	"	五十嵐哲也		
フジヤマテキスタイルプロジェクト					
キックオフミーティング	R3/6/4	東京造形大学 産地織物企業	オンライン開催	五十嵐哲也	秋本梨恵
マッチング	R3/7/7	"	"	五十嵐哲也	秋本梨恵
発会式	R3/7/31	"	"	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R3/8/6	東京造形大学 産地織物企業	富士技術支援センター	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R3/10/1	"	"	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R3/11/5	"	"	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R3/12/3	"	"	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R4/1/7	"	"	五十嵐哲也	秋本梨恵
定例会	R4/2/10	"	"	五十嵐哲也	秋本梨恵
テキスタイル産地ネットワーク	R3/11/17~18	ゆいまーる沖縄(株)	沖縄県立博物館・美術館	秋本梨恵	
テキスタイル産地ネットワーク	"	"	オンライン開催	五十嵐哲也	
富士吉田ブランド評議委員会					
第1回	R3/8/20	富士吉田商工会議所	書面開催	五十嵐哲也	
第2回	R3/10/7	"	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	
第3回	R4/3/16	"	書面開催	五十嵐哲也	
2次審査会	R3/10/20	"	富士吉田商工会議所	五十嵐哲也	
令和3年度 山梨県クリーン師試験					
第1回試験委員会	R3/7/27	福祉保健部	防災新館	渡辺 誠	
第2回試験委員会	R3/10/22	"	びゅあ総合	渡辺 誠	
山梨県高等学校農業科教員と関係部局職員の意見交換会					
北杜高等学校	R3/7/15	山梨県高校教育課	北杜高等学校	小嶋匡人	
農林高等学校	R3/10/12	"	農林高等学校	恩田 匠	
GI YAMANASHI官能審査会					
第1回	R3/5/17	山梨県酒造協同組合	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也
第2回	R3/7/15	"	"	長沼孝多	橋本卓也
第3回	R3/12/17	"	"	長沼孝多	橋本卓也
第4回	R4/1/11	"	"	長沼孝多	橋本卓也
第5回	R4/3/25	"	常盤ホテル	長沼孝多	橋本卓也
山梨県原産地呼称日本酒管理委員会官能審査部会					
第7回	R3/5/17	山梨県酒造協同組合 山梨県原産地呼称日本酒 管理委員会	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也
第8回	R3/7/15	"	"	長沼孝多	橋本卓也
第9回	R3/12/17	"	"	長沼孝多	橋本卓也
第10回	R4/1/11	"	"	長沼孝多	橋本卓也
第11回	R4/3/25	"	常盤ホテル	長沼孝多	橋本卓也
令和3年度清酒貯蔵出荷管理技術相談 (呑切)及び県産清酒統一銘柄推奨 審査会	R3/7/16	山梨県酒造組合	山梨県酒造組合	橋本卓也	
第53回山梨県新酒鑑評会	R4/3/11	山梨県酒造組合	山梨県酒造組合	長沼孝多	橋本卓也
令和3年度山梨県原産地呼称日本酒管理委員会					
第3回	—	山梨県酒造協同組合 山梨県原産地呼称日本酒 管理委員会	書面開催	清野 浩	
第9回	—	"	"	清野 浩	
甲州市原産地呼称ワイン認証制度審査会					
第1回	R3/4/27	甲州市原産地呼称ワイン 認証審査会	甲州市ぶどうの丘イベント ホール	恩田 匠	
第2回	R3/7/27	"	"	恩田 匠	

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
甲州市ワイン品質審査会						
第31回甲州市ワイン品質審査会	R3/6/24	甲州市	甲州市ぶどうの丘イベントホール	恩田 匠	木村英生	
第1回ヌーヴォーワイン	R3/12/9	"	"	佐藤憲亮		
Japan Wine Competition (日本ワインコンクール)						
運営部会	R3/12/22	日本ワインコンクール実行委員会	オンライン開催	木村英生		
実行委員会・審査部会・運営部会合同会議	R4/2/18	"	"	恩田 匠		
審査部会	R4/3/16	"	"	恩田 匠		
勝沼ワイナリーズクラブ品質審査会						
第64回	R3/8/19	勝沼ワイナリーズクラブ	ワイン技術部	木村英生		
第65回	R4/3/17	"	"	木村英生		
ワイン・フロンティアリーダー養成プログラム						
講義「日本ワイン学」	R3/12/3	山梨大学	山梨大学	恩田 匠		
第2回推進委員会	R3/12/6	"	"	恩田 匠		
第3回推進委員会	R4/3/3	"	"	恩田 匠		
地理的表示「山梨」審査会						
第64回	R3/4/22	山梨県ワイン酒造組合	かいてらす	恩田 匠		
第65回	R3/6/4	"	"	恩田 匠		
第66回	R3/8/5	"	"	恩田 匠		
第67回	R3/9/22	"	"	恩田 匠		
第68回	R3/10/28	"	"	恩田 匠		
第69回	R3/12/8	"	"	恩田 匠		
第70回	R4/1/26	"	"	恩田 匠		
第71回	R4/2/21	"	"	恩田 匠		
「山梨ワイン産地確立推進計画」推進連絡会議						
第13回	R3/5/24	果樹・6次産業振興課	オンライン開催	恩田 匠		
第14回	R3/7/13	"	"	恩田 匠	木村英生	
第15回	R3/10/7	"	果樹試験場明野圃場	恩田 匠	木村英生	
第16回	R4/1/20	"	書面開催	—		
第17回	R4/3/11	"	オンライン開催	恩田 匠	木村英生	
山梨県立農林高等学校マイスター・ハイスクール事業						
第1回事業推進委員会	R3/9/22	教育委員会	農林高等学校	恩田 匠		
第2回事業推進委員会	R4/2/22	"	オンライン開催	恩田 匠		
小規模ワイナリー重点支援事業						
第1回	R3/7/16	山梨県ワイン酒造組合	山梨県ワイン酒造組合	恩田 匠		
第2回	R3/7/20	"	"	恩田 匠		
第3回	R3/7/27	"	"	恩田 匠		
第4回	R3/7/28	"	"	恩田 匠		
第5回	R3/7/30	"	"	恩田 匠		
山梨県溶接技術競技大会						
令和3年度溶接技術競技大会 事前説明	R3/5/13	(一社)山梨県鉄構溶接協会	ポリテクセンター山梨	阿部 治 長田和真	鈴木大介	石田正文
令和3年度 第53回山梨県溶接技術競技大会	R3/6/5	"	"	初鹿野晋一 鈴木大介	八代浩二 石田正文	阿部 治 長田和真
令和3年度 第12回山梨県高等学校溶接競技会	R3/6/5	"	"	初鹿野晋一 鈴木大介	八代浩二 石田正文	阿部 治 長田和真
外観審査会	R3/6/8	"	"	八代浩二 石田正文	阿部 治 長田和真	鈴木大介
曲げ審査会	R3/7/14	"	"	八代浩二 石田正文	阿部 治 長田和真	鈴木大介
令和3年度 第53回山梨県溶接技術競技大会 表彰委員会	R3/7/21	"	山梨県鉄構会館	初鹿野晋一	八代浩二	阿部 治
令和3年度 第12回山梨県高等学校溶接競技会 表彰委員会	R3/7/21	"	"	初鹿野晋一	八代浩二	阿部 治
令和4年度 第54回山梨県溶接技術競技大会および第13回山梨県高等学校溶接競技会 キックオフ会議	R4/2/18	"	"	八代浩二	阿部 治	

会議名	期日	依頼者	派遣場所	出席者		
ロボコンやまなし2021						
第1回実行委員会	R3/7/16	ロボコンやまなし2021実行委員会	アイメッセ山梨	布施嘉裕		
第2回実行委員会	R3/11/4	"	"	布施嘉裕		
大会	R3/11/13	"	"	河野 裕 永田靖貴	布施嘉裕 中込広幸	阿部正人 中村 卓
令和3年度中小企業・小規模企業振興基金助成事業審査委員会						
第1回	R3/6/21	(公財)やまなし産業支援機構	書面開催	佐野正明	中村聖名	
令和3年度県民の日富士吉田会場実行委員会総会	R3/6/3	県民の日富士吉田会場実行委員会	富士吉田合同庁舎	柏木隆伸		
南アルプスグレードアップ 地域ならではの観光商品開発業務委託に係る事業者選考審査会	R3/6/15	観光資源課	防災新館	秋本梨恵		
GI「山梨」日本酒・ワインプロモーション業務委託企画提案審査委員会	R3/8/4	産業振興課	山梨県庁	秋本梨恵		
測定計測展2021「測定機器、三次元座標測定器セミナー」講演	R3/10/7	日本精密測定機器工業会	東京ビッグサイト	石黒輝雄		
測定計測展2021「測定機器、三次元座標測定器セミナー」	R3/10/7	"	オンライン開催	西村通喜		
山梨県果樹試験場ワイン品質検討会	R3/12/15	農政部	県果樹試験場	恩田 匠		
山梨県表面処理研究会第35回研究発表会	R3/12/23	山梨県表面処理研究会	甲府技術支援センター	八代浩二 塩澤佑一朗	小松正和	芦澤里樹
令和4年ワイン醸造技術研究会	R4/1/27	札幌国税局	札幌第2合同庁舎	恩田 匠		
山梨県金型・表面処理研究会 合同講演会	R4/3/8	山梨県型技術研究会 山梨県表面処理研究会	甲府技術支援センター (オンライン開催)	西村通喜 早川 亮 塩澤佑一朗	阿部 治 鈴木大介	石田正文 長田和真
ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	R4/3/28	成長産業推進課	静岡県医療健康産業研究開発センター(オンライン開催)	清野 浩	柏木隆伸	

4. その他会議

会議名	期日	会場	出席者		
産学官連携・国関連					
総合理工学研究機構					
第1回山梨県研究推進会議	R3/5/14	オンライン開催	初鹿野晋一		
第2回山梨県研究推進会議	R3/9/22	甲府技術支援センター	初鹿野晋一		
第3回山梨県研究推進会議	R4/1/19	オンライン開催	初鹿野晋一		
第1回運営・評価会議	R3/7/16	甲府技術支援センター	宮本博永	八代浩二	
第1回総合理工学研究機構研究員研修会	R3/10/29	オンライン開催	吉村千秋	岩間貴司	金丸勝彦
			河野 裕	渡辺 誠	望月威夫
			宮川理恵	宮川和博	長沼孝多
			三井由香里	布施嘉裕	小松正和
			鈴木文晃	樋口かよ	林 善永
第2回総合理工学研究機構研究員研修会	R4/2/14	"	初鹿野晋一	柏木隆伸	吉村千秋
			岩間貴司	高尾清利	金丸勝彦
			河野 裕	八代浩二	恩田 匠
			有泉直子	串田賢一	木村英生
			望月威夫	三井由香里	布施嘉裕
佐藤憲亮	塩澤佑一朗	小松正和			
やまなし産学官連携研究交流事業	R3/10/29 ~R4/3/31	"	関係職員		
組合関連					
山梨県水晶宝飾協同組合 総会	R3/5/24	山梨県地場産業センターかいてらす	宮川和博		
山梨県水晶宝飾協同組合 理事会	R3/5/24	山梨県地場産業センターかいてらす	宮川和博		
	R3/12/6	山梨県水晶宝飾協同組合	宮川和博		
山梨県酒造組合 意見交換	R3/11/22	山梨県酒造組合	初鹿野晋一	清野 浩	有泉直子
山梨県漬物協同組合 意見交換	R3/11/24	長谷川醸造(株)	初鹿野晋一	清野 浩	有泉直子
			長沼孝多		
山梨県水晶宝飾協同組合 意見交換	R3/11/29	山梨県水晶宝飾協同組合	初鹿野晋一	清野 浩	有泉直子
			宮川和博		
(一社)山梨県機械電子工業会 意見交換	R3/12/10	浅川熱処理(株)	初鹿野晋一	清野 浩	萩原 茂
山梨県パン協同組合 意見交換	R3/12/13	コーナーポケット 韮崎本店	初鹿野晋一	清野 浩	有泉直子
			長沼孝多		
山梨県絹人繊維物工業組合 意見交換	R3/12/14	山梨県絹人繊維物工業組合	初鹿野晋一	柏木隆伸	渡辺 誠
山梨県ワイン酒造組合 意見交換	R3/12/27	メルシャン(株)	初鹿野晋一	清野 浩	恩田 匠
その他					
燃料電池関連					
やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会 第1回WG合同会議	R3/9/28	山梨大学	山田博之		
令和3年度「水素・燃料電池産業技術人材養成講座」 成果報告会・閉講式	R4/2/2	オンライン開催	萩原 茂	岩間貴司	山田博之
			金丸勝彦	三神武文	
NEDO「燃料電池等利用の飛躍的拡大に向けた共通課題解決型産学官連携研究開発事業/共通課題解決型基盤技術開発/電気化学的特性測定技術の研究開発」					
MEA評価結果報告 (同志社大学)	R3/4/2	オンライン開催	大丸明正	三神武文	小林 誉
電気化学討論会	R3/4/9	"	三神武文		
第4回FC-Cubicオープンシンポジウム	R3/4/20	"	三神武文		
NEDO高温評価ワーキンググループ会議 (NEDO他)	R3/4/21	"	大丸明正	三神武文	小林 誉
解析内容検討 (同志社大学)	R3/5/17	"	三神武文		
解析内容検討 (山梨大学)	R3/5/21	"	三神武文		
GL会議 (NEDO他)	R3/6/4	"	三神武文		
MI検討会 (国研) 物質・材料研究機構	R3/6/8	"	三神武文		
MEA評価結果報告 (九州大学)	R3/6/15	"	大丸明正	三神武文	小林 誉
解析内容検討 (名古屋大学)	R3/6/22	"	三神武文		
解析内容検討 (東京都立大学)	R3/6/29	"	三神武文		
NEDO水素・燃料電池プロジェクトレビュー	R3/6/30	"	三神武文		
材料解析報告 (京都大学)	R3/7/12	"	三神武文		
PL意見交換会 (NEDO他)	R3/7/12	"	三神武文		

会議名	期日	会場	出席者		
材料解析報告（東京工業大学）	R3/7/12	オンライン開催	三神武文		
材料解析報告（信州大学）	R3/7/12	〃	三神武文		
評価装置打ち合わせ（（株）東陽テクニカ）	R3/7/14	〃	三神武文	小林 誉	
MEA評価結果報告（（国研）産業技術総合研究所）	R3/7/26	〃	大丸明正	三神武文	小林 誉
解析内容検討（石福金属興業（株））	R3/7/28	〃	大丸明正	三神武文	小林 誉
解析内容検討（山梨大学）	R3/7/29	〃	三神武文	小林 誉	
解析内容検討（同志社大学）	R3/7/29	甲府技術支援センター	大丸明正	三神武文	小林 誉
連携会議（豊橋技術科学大学）	R3/7/30	オンライン開催	三神武文		
MEA評価結果報告（東京工業大学）	R3/8/2	〃	大丸明正	三神武文	小林 誉
連携会議（奈良高等専門学校）	R3/8/2	〃	三神武文		
連携会議（名古屋大学）	R3/8/3	〃	三神武文		
連携会議（鶴岡高等専門学校）	R3/8/4	〃	三神武文		
解析内容検討（上智大学）	R3/8/6	〃	三神武文		
材料解析報告（京都大学）	R3/8/18	〃	三神武文		
材料解析報告（京都大学）	R3/8/19	〃	三神武文		
第5回FC-Cubicオープンシンポジウム	R3/8/20	〃	三神武文		
解析内容検討（豊橋技術科学大学）	R3/8/25	〃	三神武文		
電気化学討論会	R3/8/27	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（九州大学）	R3/9/10	〃	大丸明正	三神武文	小林 誉
解析内容検討（日本バイリーン（株））	R3/9/13	〃	三神武文	小林 誉	
連携会議（群馬大学）	R3/9/14	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（山梨大学）	R3/9/15	〃	三神武文	小林 誉	
MEA評価結果報告（同志社大学）	R3/9/17	〃	大丸明正	三神武文	小林 誉
連携会議（（国研）産業技術総合研究所）	R3/9/28	〃	三神武文		
解析内容検討（山梨大学）	R3/9/29	〃	三神武文		
解析内容検討（京都大学）	R3/10/1	〃	三神武文		
解析内容検討（（国研）産業技術総合研究所）	R3/10/8	〃	三神武文		
PL意見交換会（北海道大学）	R3/10/11	〃	三神武文		
解析内容検討（信州大学）	R3/10/18	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（同志社大学）	R3/10/19	〃	大丸明正	三神武文	小林 誉
PL意見交換会（東京理科大学）	R3/10/19	〃	三神武文		
PL意見交換会（東京工業大学）	R3/10/19	〃	三神武文		
連携会議（群馬大学）	R3/10/21	〃	三神武文		
連携会議（大分大学）	R3/10/22	〃	三神武文		
連携会議（日本バイリーン（株））	R3/10/25	〃	三神武文		
材料解析報告（山梨大学）	R3/10/27	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（石福金属興業（株））	R3/10/27	〃	大丸明正	三神武文	小林 誉
連携会議（（国研）産業技術総合研究所）	R3/10/28	〃	三神武文		
PL意見交換会（神戸大学）	R3/11/2	〃	三神武文		
連携会議（名古屋工業大学）	R3/11/2	〃	三神武文		
解析内容検討（名古屋大学）	R3/11/8	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（九州大学）	R3/11/12	〃	大丸明正	三神武文	小林 誉
材料解析報告（豊橋技術科学大学）	R3/11/15	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（東京都立大学、日本バイリーン（株））	R3/11/19	〃	三神武文	小林 誉	
MEA評価結果報告（（国研）産業技術総合研究所、同志社大学）	R3/12/6	〃	大丸明正	三神武文	小林 誉
シミュレーショングループ討議会	R3/12/7	〃	三神武文		
連携会議（神戸大学）	R3/12/9	〃	三神武文		
第6回FC-Cubicオープンシンポジウム	R3/12/10	〃	三神武文	小林 誉	
解析内容検討（山梨大学）	R3/12/14	〃	三神武文		
解析内容検討（東京工業大学）	R3/12/16	〃	三神武文		
連携会議（北海道大学）	R3/12/17	〃	三神武文		
シミュレーショングループ討議会	R3/12/20	〃	三神武文		
MI検討会（（国研）物質・材料研究機構）	R3/12/21	〃	三神武文		
連携会議（東京理科大学）	R3/12/21	〃	三神武文		
材料解析報告（群馬大学）	R3/12/22	〃	三神武文		
解析内容検討（東京工業大学）	R3/12/24	〃	三神武文		
連携会議（名古屋工業大学）	R3/12/24	〃	三神武文		
材料解析報告（奈良高等専門学校）	R3/12/27	〃	三神武文		
材料解析報告（山梨大学）	R3/12/27	〃	三神武文		
MEA評価結果報告（信州大学、同志社大学、石福金属興業（株））	R4/1/6	〃	大丸明正	三神武文	小林 誉

会議名	期日	会場	出席者		
MEA評価結果報告（同志社大学）	R4/1/7	オンライン開催	大丸明正	三神武文	小林 誉
解析内容検討（（国研）物質・材料研究機構、JARI）	R4/1/12	〃	三神武文		
連携会議（東京工業大学）	R4/1/13	〃	三神武文		
材料解析報告（九州大学）	R4/1/26	〃	三神武文		
材料解析報告（同志社大学）	R4/1/26	〃	三神武文		
材料解析報告（京都大学）	R4/1/27	〃	三神武文		
材料解析報告（信州大学）	R4/2/1	〃	三神武文		
PF意見交換会（NEDO）	R4/2/2	〃	三神武文		
評価結果報告（奈良高等専門学校）	R4/2/7	〃	三神武文		
解析内容検討（（国研）産業技術総合研究所）	R4/2/9	〃	三神武文		
材料解析報告（東京工業大学）	R4/2/16	〃	三神武文		
評価装置打ち合わせ（（株）チノー）	R4/2/21	〃	三神武文	小林 誉	
評価結果報告（同志社大学）	R4/2/24	〃	大丸明正	三神武文	小林 誉
評価結果報告（東京工業大学）	R4/2/24	〃	三神武文	小林 誉	
材料解析報告（豊橋技術科学大学）	R4/2/24	〃	三神武文		
評価結果報告（大分大学）	R4/3/7	〃	大丸明正	三神武文	小林 誉
解析内容検討（岩手大学）	R4/3/7	〃	大丸明正	三神武文	
解析内容検討（琉球大学）	R4/3/8	〃	三神武文		
シミュレーショングループ討議会	R4/3/11	〃	三神武文	小林 誉	
第7回FC-Cubicオープンシンポジウム	R4/3/18	〃	三神武文	小林 誉	
材料解析報告（名古屋大学）	R4/3/22	〃	三神武文		
解析内容検討（九州大学）	R4/3/23	〃	三神武文	小林 誉	
燃料電池MEA試作立会い	R3/5/11	（株）エーシングテクノロジーズ 慶応藤沢研究所	大丸明正	三神武文	小林 誉
	R3/11/18	〃	三神武文	小林 誉	
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム「水素社会に向けた『やまなし燃料電池バレー』の創成」					
B会議	R3/4/7	山梨大学	八代浩二		
	R3/5/10	オンライン開催	八代浩二		
	R3/6/9	〃	八代浩二		
	R3/7/6	〃	八代浩二		
	R3/8/19	〃	八代浩二		
	R3/9/16	〃	八代浩二		
	R3/10/20	〃	八代浩二		
	R4/1/18	〃	八代浩二		
第41回実務関係者会議	R3/4/7	山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター	八代浩二		
FCyFINEシンポジウム2021	R4/3/9	オンライン開催	三神武文		
地域オープンイノベーション促進事業 東北・関東広域連携医療機器関連産業強化コンソーシアム					
第7回連絡会	—	書面会議	山田博之		
静岡がん会議2021	R4/3/4	オンライン開催	初鹿野晋一	清野 浩	柏木隆伸
			萩原 茂	吉村千秋	岩間貴司
			高尾清利	山田博之	三井由香里
			宮川理恵	有泉直子	河野 裕
			八代浩二	金丸勝彦	渡辺 誠
			中村聖名	望月威夫	河西伸一
NEDO戦略的省エネルギー技術革新プログラム「難燃性マグネシウム合金のダイカストによる自動車部材の量産プロセス技術開発」					
第10回鋳造試験	R3/4/13～16	茨城県産業技術イノベーションセンター	鈴木大介		
	R3/4/14～16	〃	佐野正明	八代浩二	鈴木大介
第4回ミニチュアマグネシウムホイール鋳造試験	R3/6/23～25	（株）GMC兵庫開発センター	佐野正明		
	R3/6/28～30	〃	八代浩二	鈴木大介	
第5回ミニチュアマグネシウムホイール鋳造試験	R3/7/15～16	〃	佐野正明		
令和3年度第1回全体会議	R3/7/7	オンライン開催	佐野正明	八代浩二	鈴木大介
			三井由香里		
第11回鋳造試験	R3/7/28～30	茨城県産業技術イノベーションセンター	佐野正明	八代浩二	鈴木大介
令和3年度第2回全体会議	R3/9/28	オンライン開催	佐野正明	鈴木大介	
第12回鋳造試験	R3/10/5～7	茨城県産業技術イノベーションセンター	佐野正明		
第13回鋳造試験	R3/10/19～20	〃	鈴木大介		
令和3年度第3回全体会議	R3/12/8～9	（株）戸畑ターレット、（株）戸畑製作所	佐野正明	八代浩二	鈴木大介

会議名	期日	会場	出席者		
第2回14inchマグネシウムホイール鑄造試験	R3/12/22~23	(株)戸畑ターレット、(株)戸畑ターレット研究所共同開発センター	佐野正明		
令和3年度第4回全体会議	R4/3/23	オンライン開催	佐野正明 三井由香里	八代浩二	鈴木大介
マグネシウムホイール燃費試験	R4/3/31	日本自動車輸送技術協会昭島研究室	佐野正明	八代浩二	鈴木大介
テクノネット「ふじざくら」					
幹事会	R3/5/18	富士技術支援センター	初鹿野晋一	柏木隆伸	吉村千秋
			山田博之	中村聖名	勝又信行
			萩原義人		
総会	R3/7/15	"	柏木隆伸	吉村千秋	中村聖名
			勝又信行	萩原義人	
講演会	R3/7/15	"	初鹿野晋一	柏木隆伸	吉村千秋
			高尾清利	山田博之	中村聖名
			勝又信行	萩原義人	尾形正岐
			寺澤章裕	古屋雅章	望月陽介
講演会	R3/12/15	"	柏木隆伸	吉村千秋	中村聖名
			勝又信行	萩原義人	尾形正岐
			古屋雅章	望月陽介	
ダイカスト技術研究会					
第4回ダイカスト技術研究会	R4/3/24	オンライン開催		八代浩二	鈴木大介
HMK（宝石のまち甲府）会議					
第1回HMK会議	R3/4/26	甲府市役所	秋本梨恵		
第2回HMK会議	R3/5/19	"	秋本梨恵		
第3回HMK会議	R3/7/21	"	秋本梨恵		
第4回HMK会議	R3/9/15	"	秋本梨恵		
第5回HMK会議	R3/10/20	"	秋本梨恵		
第6回HMK会議	R3/11/17	"	秋本梨恵		
第8回HMK会議	R4/1/19	オンライン開催	秋本梨恵		
第10回HMK会議	R4/3/16	"	秋本梨恵		
山梨ジュエリープロジェクト委員会					
第3回ジュエリープロジェクト委員会	R3/8/6	甲府商工会議所	秋本梨恵		
第4回ジュエリープロジェクト委員会	R3/10/15	"	秋本梨恵		
第6回ジュエリープロジェクト委員会	R4/1/17	"	秋本梨恵		
燃料電池開発情報センター（FCDIC）					
第28回燃料電池シンポジウム	R3/5/27~28	オンライン開催	三神武文	小林 誉	
第160回研究会	R3/6/23	トヨタ自動車(株)トヨタ会館、トヨタ自動車(株)元町工場、トヨタ博物館	小林 誉		
メディカル・デバイス・コリドー推進センター月次報告会	R3/5/12	アイメッセ山梨	山田博之		
	R3/6/7	"	山田博之		
	R3/7/6	"	山田博之		
	R3/8/6	山梨県庁	山田博之		
	R3/9/8	オンライン開催	山田博之		
	R3/10/8	"	山田博之		
	R3/11/10	"	山田博之		
	R3/12/9	アイメッセ山梨	山田博之		
	R4/1/7	"	山田博之		
	R4/2/9	オンライン開催	岩間貴司	山田博之	
R4/3/30	"	山田博之			
令和3年度 第1回山梨県研究推進会議	R3/5/14	オンライン開催	初鹿野晋一		
山梨医療機器研究会	R3/5/19	書面会議	山田博之		
	R3/7/7	オンライン開催	山田博之		
	R4/2/7	"	山田博之		
地域産業活性化人材育成事業 成果報告会	R3/6/10	産業技術総合研究所	望月陽介		
第115回酒類醸造講習（短期製麹コース）（オンラインプレ講習）	R3/9/13	オンライン開催	橋本卓也		
第66回全国酒造技術指導機関合同会議	R3/10/20	オンライン開催	恩田 匠	木村英生	
JPCA Show 2021	R3/10/27	東京ビッグサイト	塩澤佑一朗		
	R3/10/28	"	阿部 治		

会議名	期日	会場	出席者		
JASIS 2021	R3/11/8	幕張メッセ	小林 誉		
	R3/11/10	〃	三神武文		
2021年度JST新技術説明会	R3/11/25	オンライン開催	八代浩二		
アグリビジネス創出フェア2021	R3/11/25	東京ビッグサイト	布施嘉裕		
型技術協会金型品質評価研究委員会 令和3年度第1回研究会	R3/12/2	(一財)機械振興会館	佐野正明		
第30回東京ミネラルショー	R3/12/10	池袋サンシャインシティ文化会館ビル2F・3F	佐藤貴裕		
令和3年度食品試験研究推進会議	R4/2/16	オンライン開催	恩田 匠		
令和3年度人材育成研究会 (第4回)	R4/3/16	ポリテクセンター山梨	永田靖貴		
第4回日本ワインの製造に関する技術情報交換会	R4/3/25	オンライン開催	恩田 匠	木村英生	

報道関係

1. テレビ等

	題目	名称等	年月日
1	NEWS かいドキ「“新しい糸 “で産地盛り上げを」	NHK 甲府放送局	R3/11/24
2	NEWS かいドキ「県内産の材料で新たな甲州印伝を」	NHK 甲府放送局	R3/11/25
3	おはよう日本・関東甲信越「“あたたかくなる糸” で産地を盛り上げたい」	NHK 関東甲信越	R3/12/7
4	おはよう日本・全国「県産材料で“環境にやさしい製品作り”」	NHK 全国	R3/12/13
5	NHK ワールド JAPAN” Leathercraft Turns to Deer That Are Near”	NHK WORLD-JAPAN	R4/1/31
6	NEWS かいドキ「県の施設で放射性物質を許可を得ずに保管」	NHK 甲府放送局	R4/2/23
7	スゴろく「無許可の「酢酸ウラニル」産技センターで発見」	UTY テレビ山梨	R4/2/23
8	YBS ニュース「無許可の放射性物質見つかる」	YBS 山梨放送	R4/2/23
9	NEWS かいドキ「郡内織物の“デザインの宝”を探す	NHK 甲府放送局	R4/3/8
10	前進！やまなし「森と人をつなぐ白い鹿革誕生」	YBS 山梨放送	R4/3/14

2. 新聞・情報誌等

	題目	名称等	年月日
1	白革開発 スタバと連携も	山梨日日新聞	R3/6/1
2	夏の星空 傘柄で表現 榎田商店 特許技術を活用	山梨日日新聞	R3/6/22
3	甲州市のワイン 品質審査 140 点が「合格」	読売新聞	R3/7/3
4	全国公設試の機能と役割	溶接技術	R3/8/1
5	貴金属のバレル研磨条件最適化に関する研究	山梨研磨宝飾新聞	R3/9/15
6	IoT 活用へ人材育成 県ポリテクセンターと連携	山梨日日新聞	R3/9/25
7	前田源商店 自然図鑑モチーフのブランケット インテリア関連展に出展	繊維ニュース	R3/10/6
8	白革印伝 ブランド化本腰 甲府・山本 カードケースあす販売	山梨日日新聞	R3/10/7
9	NIKKEI The STYLE 土の色に魅せられて 足元のパレット	日本経済新聞	R3/11/14
10	放射性物質試薬国許可得ず保管	山梨日日新聞	R4/2/23
11	県の薬品庫から放射性物質発見	朝日新聞	R4/2/24
12	放射性物質 30 年間そのまま	山梨新報	R4/3/4
13	未来コトハジメ 太陽光で発熱する 100%ウール バナジウム活用で山梨県研究機関と地元企業がタッグ	日経 BP (Web 版)	R3/3/15

職員の資質向上

1. 派遣研修

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
国立試験研究機関等			
機械電子技術部 素材料科 研究員 寺澤章裕	地域産業活性化人材育成事業	(研) 産業技術総合研究所	R3/10/31～11/13, 11/28～12/4, 12/6～11
山梨大学との共同研究			
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 主任研究員 芦澤里樹	バイオベースポリマーの補強に関する研究	山梨大学	R3/8/10 ～R4/3/31
知的財産権研修			
企画連携推進部 企画・情報科 研究員 林 善永	知的財産権研修 (初級) (公設試験研究機関等向け) (第2回)	(独) 工業所有権情報・研修館 (INPIT) (オンライン開催)	R3/11/9～11
中小企業支援担当者等研修			
電子・システム技術部 システム開発科 主任研究員 布施嘉裕	「小規模事業者のIT導入支援の進め方」	(独) 中小企業基盤整備機構 人材支援部 中小企業大学校 Web校 (オンライン開催)	R3/7/6, 7/15
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 樋口かよ	「公設試験研究機関研究職員研修」	(独) 中小企業基盤整備機構 人材支援部 中小企業大学校 東京校	R3/11/9～12
デザイン技術部 主任研究員 鈴木文晃	「製造業の新市場への参入支援」	(独) 中小企業基盤整備機構 人材支援部 中小企業大学校 東京校	R3/12/1～3
繊維技術部 技術支援科 主任研究員 秋本梨恵	「地域活性化のための地域分析手法と戦略」	(独) 中小企業基盤整備機構 人材支援部 中小企業大学校 東京校	R3/12/13～17
基礎技術研修			
機械技術部 主任研究員 小松利安 機械電子技術部 機械電子科 主任研究員 尾形正岐	機械研削盤のといし取替え・試運転の業務特別教育	静基連会館 ポリテクセンター静岡	R3/6/21～22
食品酒類・研磨宝飾技術部 研磨・宝飾科 会計年度任用職員 山本季彦 材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 鈴木大介 機械技術部 主任研究員 米山 陽			R4/1/24～25
材料・燃料電池技術部 工業材料科 研究員 長田和真			金属材料の理論と実際

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
電子・システム技術部 システム開発科 研究員 中込広幸	画像認識・AIによる小型ロボットアームの制御と活用技術	(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構「高度ポリテクセンター」	R3/10/21~22
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 阿部 治	FE-SEM標準コース	日本電子(株) 本社・昭島製作所	R3/11/17~19
電子・システム技術部 電子応用科 主任研究員 清水章良	EMC対策のための電磁気学	(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構「高度ポリテクセンター」	R3/11/8~9
機械技術部 主任研究員 西村通喜	ワイヤ放電加工機トレーニングスクール/セミナー(三菱電機・D-CUBES) ワイヤ放電加工機 標準操作コース	三菱電機(株) 東日本メカトロソリューションセンター	R3/11/24~26
機械技術部 主任研究員 早川 亮			R3/12/15~17
県内民間企業研修 ものづくり研修			
繊維技術部 製品開発科 技師 宮澤航平	ものづくり研修	天野商店	R3/10/1, 10/8, 10/15, 10/22, 10/29
繊維技術部 製品開発科 技師 宮澤航平	ものづくり研修	(有) テンジン	R3/11/15, 11/26, 12/3, 12/10, 12/24
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 塩澤佑一朗	ものづくり研修	(株) 丸真熱処理工業	R3/11/22, 11/24~26, 11/29
山梨大学大学院工学研究科博士後期課程研修			
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	—	—	R3/4/1~R4/3/31
電子・システム技術部 システム開発科 研究員 中込広幸	—	—	R3/4/1~R4/3/31

2. その他研修

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	伝わる英語論文タイトルとアブストラクトを書くコツ	クラリベイト・アナリティクス	R3/4/15
電子・システム技術部 システム開発科 主任研究員 布施嘉裕 総務課 副主査 阿部 純	令和3年度行政課題研修 「DX人材育成プログラム」	職員研修所 (オンライン開催)	R3/5/10~7/30
ワイン技術部 主幹研究員・部長 恩田 匠	山梨県小売酒販組合連合会 「酒類販売管理研修」	びゅあ総合	R3/5/12
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多 主任研究員 橋本卓也	明日から使えるLC基礎講座①	日本ウォーターズ (株) (オンライン開催)	R3/5/13
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	超小型質量検出器を用いた課題解決	日本ウォーターズ (株) (オンライン開催)	R3/5/18
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	明日から使えるLC基礎講座②~⑤	日本ウォーターズ (株) (オンライン開催)	R3/5/25, 6/10, 6/22, 7/8
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	第57回 (独) 酒類総合研究所講演会	(独) 酒類総合研究所 (オンライン開催)	R3/6/7
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	味と香りのデータサイエンス	統計数理研究所 (オンライン開催)	R3/6/18
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 橋本卓也 研究員 樋口かよ 研磨・宝飾科 研究員 佐藤貴裕	プロのノウハウ教えます。一発簡単データ解析で欲しい結果が一目瞭然！最新多変量解析	(株) 日立ハイテク (オンライン開催)	R3/7/15
材料・燃料電池技術部 工業材料科 主任研究員 阿部 治 研究員 石田正文 研究員 長田和真	TKFミニインターンシップ (EBS)	長野県工業技術総合センター 精密・電子・航空技術部門	R3/7/29, 12/16
材料・燃料電池技術部 工業材料科 研究員 石田正文	TKFミニインターンシップ (EPMA)	長野県工業技術総合センター 材料技術部門	R3/8/5
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 小嶋匡人	第110回南部杜氏夏季酒造講習会	(一社) 南部杜氏協会 (オンライン開催)	R3/8/10~9/12

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 樋口かよ 機械技術部 研究員 坂本智明			R3/8/26
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 小嶋匡人 デザイン技術部 研究員 佐藤博紀 機械電子技術部 機械電子科 研究員 古屋雅章 素材科 研究員 望月陽介	令和3年度階層別研修 「新任副主査研修」	職員研修所 (オンライン開催)	R3/8/27
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	LC、LC/MS分析における吸着対策	(株) 島津製作所 (オンライン開催)	R3/9/10
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 橋本卓也	第115回酒類醸造講習(短期製麹コース) (オンラインプレ講習)	(独) 酒類総合研究所 (オンライン開催)	R3/9/13
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	JASワークショップ①～③	(独) 農林水産消費安全技術センター (オンライン開催)	R3/10/1, 10/8, 10/15
食品酒類・研磨宝飾技術部 研磨・宝飾科 研究員 佐藤貴裕	令和3年度危険物取扱者保安講習	桃源文化会館	R3/10/5
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 尾形美貴	ガスクロ4大トラブル攻略法 ～今日からできるGCトラブルシューティング～	ジューエルサイエンス(株) (オンライン開催)	R3/10/5
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 小嶋匡人	そこが知りたい! LCMSの基礎やノウハウについてご紹介	(株) 島津製作所 (オンライン開催)	R3/10/8
機械技術部 主幹研究員・部長 佐野正明 機械電子技術部 素材科 研究員 望月陽介	測定計測展精密測定機器座標測定機セミナー	東京ビッグサイト (オンライン開催)	R3/10/7
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 小嶋匡人	HPLCの基礎(1)～(4)	(株) 島津製作所 (オンライン開催)	R3/10/19
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多 研究員 樋口かよ	第16回味覚センサー活用セミナー	(株) インテリジェントセンサーテクノロジー (オンライン開催)	R3/10/22

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 芦澤里樹	導電性高分子の基礎知識と高導電化・高機能化へのポイント	tech-seminar.jp (オンライン開催)	R3/10/28
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 小嶋匡人	もう迷わない分析目的にマッチしたLCカラムの選び方	日本ウォーターズ (株) (オンライン開催)	R3/11/2
デザイン技術部 部長 金丸勝彦 主任研究員 串田賢一 主任研究員 鈴木文晃 研究員 佐藤博紀	令和3年度デザイン政策研修	経済産業省デザイン政策室 (オンライン開催)	R3/11/5
総務課 副主査 阿部 純 電子・システム技術部 システム開発科 主任研究員 布施嘉裕	職員研修所自主研究活動 「ドローンを活用した庁舎の外壁等点検について」	職員研修所	R3/11/8～R4/2/28
ワイン技術部 主幹研究員・部長 恩田 匠	食品衛生協会実務講習会	山梨県食品衛生協会	R3/12/1
材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 研究員 芦澤里樹	紙の総合知識 紙系材料の基礎と加工開発動向	サイエンス&テクノロジー (株) (オンライン開催)	R3/12/8
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 小嶋匡人	食品分析で活用するためのLC、LC-MS基礎講座 第1回 食品分野におけるLC基礎講座 第2回 食品分野における四重極質量分析基礎講座	日本ウォーターズ (株) (オンライン開催)	R3/12/9, R4/1/25
企画連携推進部 主幹研究員・部長 山田博之	ファルマバレープロジェクトセミナー2021	静岡県 静岡県立静岡がんセンター (公財) ふじのくに医療城下町推進機構 (オンライン開催)	R3/12/16
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 樋口かよ	SDGsと食品化学	日本食品化学学会 (オンライン開催)	R3/12/17
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多 主任研究員 橋本卓也	砥粒の日企画オープンセミナー ～砥粒加工の可能性第一弾：お酒から医療、そして宇宙へ～	(公社) 砥粒加工学会 (オンライン開催)	R3/12/21
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 研究員 樋口かよ	コーヒーのおいしさの秘密にSEMで迫る！	日本電子 (株) (オンライン開催)	R3/12/21

所属・職・氏名	研修テーマ	研修先	期間
食品酒類・研磨宝飾技術部 主幹研究員・部長 有泉直子 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多 主任研究員 尾形美貴 研磨・宝飾科 主任研究員 宮川和博 電子・システム技術部 システム開発科 主任研究員 布施嘉裕 材料・燃料電池技術部 化学・燃料電池科 主任研究員 小松正和	能力開発研修（自治セミナー）	職員研修所 （オンライン開催）	R4/1/25
企画連携推進部 主幹研究員・部長 山田博之	医療機器産業参入促進セミナー	メディカル・デバイス・コリドー推進センター （オンライン開催）	R4/1/27
ワイン技術部 主幹研究員・部長 恩田 匠	第115回酒類醸造講習（ワインコース）	（独）酒類総合研究所 （オンライン開催）	R4/3/7
機械技術部 主幹研究員・部長 佐野正明	第144回型技術セミナー 「ダイカスト金型の安定化に寄与する表面処理技術動向および金型・型積層に関わる最新技術動向」	（一社）型技術協会	R4/3/10
食品酒類・研磨宝飾技術部 食品酒類・バイオ科 主任研究員 長沼孝多	味覚センサーオンラインセミナー「おいしさの見える化の、夜明け、曙時代は終了し、今や常識時代に入った」	（株）インテリジェントセンサーテクノロジー （オンライン開催）	R4/3/10

学会・協会等からの表彰

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
マスト発酵中のカルボニル化合物について	日本醸造協会	技術賞	渡辺正平 乙黒親男 加々美久	S56/9/10
酸素吸収剤による食品の鮮度保持技術とその評価	日本包装技術協会	優秀包装文献賞	小宮山美弘	S60/6/14
スモモ果実の品質保持及び利用に関する生化学的研究	日本食品工業学会	研究奨励賞	小宮山美弘	S61/4/18
スモモ果実の成熟、貯蔵、利用における成分特性とその挙動に関する研究	日本果汁協会	技術賞	小宮山美弘	S63/6/10
建築鉄骨用多層溶接ロボットの開発（名称：勘助）	(社)溶接協会	溶接技術奨励賞	古屋重彦 中山信一 清水誠司 斎藤 修	H1/4/24
建築鉄骨用多層溶接ロボットの開発（名称：勘助）	平成6年度関東地方発明表彰	関東通商産業局長賞	古屋重彦 中山信一 清水誠司 斎藤 修	H6/10/20
ツーピース	第32回全国繊維技術展	通商産業省生活産業局長賞	ニット・縫製科	H6/10/30
ニットスーツ	第32回全国繊維技術展	技術振興賞	ニット・縫製科	H6/10/30
形状モデリングシステム	ニコグラフ展	プロセス賞	清水誠司 河西伸一 平川寛之 萩原 茂 阿部正人 井上陽介	H6/11/15
小ウメ果実の塩蔵中における硬度保持機構に関する研究	日本食品保蔵科学会	学会賞	乙黒親男	H7/6/3
梅漬けの硬度保持機構とその製造技術の開発	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	乙黒親男	H8/6/5
婦人ニットキュロットスーツ	第34回全国繊維技術展	工業技術院賞	ニット・縫製科	H8/6/19
表面処理金型鋼の残留応力に及ぼす熱サイクルの影響	日本ダイカスト協会	小野田賞	日原政彦 八代浩二 佐野正明 増沢隆久	H9/5/22
スモモ果実の高温下での品質保持に関する研究	日本食品保蔵科学会	奨励賞	辻 政雄	H9/5/24
ワッシャー加工婦人アンサンブル	第36回全国繊維技術展	工業技術院物質工学工業研究所賞	ニット・縫製科	H10/10/26

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
セラミックスと活性金属ろうとの 接合界面挙動解析	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	斎藤 修	H11/11/29
Influence of re-nitriding for thermal fatigue properties on nitrided hot work die steel	2001 DENVER X-RAY CONFERENCE XRD Poster Award	Poster Award	八代浩二 佐野正明 日原政彦 倉元眞實	H13/8/1
ICP-MS、CVおよびEQCM法を用いた 極微量アトーム触媒の析出状態	(社)表面技術協会	平成14年度表面技術協会進歩 賞	有泉直子	H14/2/27
高速ツーリング焼きバメ用誘導加熱装置 (MEGA HEATER)	(財)あさひ中小企業財団・ (株)日刊工業新聞社	第14回中小企業新技術・新製 品賞	橋田鉄雄	H14/6/10
食品の品質管理への近赤外分光分 析法の応用に関する研究	日本食品保蔵科学会	奨励賞	恩田 匠	H14/6/28
耐食性貴金属素材及びその製造方 法とその貴金属製品	全国中小企業団体中央会	奨励賞	中山信一 佐野照雄 宮川和博	H14/9/27
ラピッドプロトタイピングによる 義肢ソケットの直接造形	第4回日本福祉工学会	論文賞	萩原 茂 河西伸一 石田正文 清水誠司 木島一広 大柴勝彦	H14/11/30
山梨県の新しいデザイン産業・ビ ジネスモデルづくり	(財)日本産業デザイン振興会	新領域部門グッドデザイン賞	工業技術センター	H15/10/30
レーザーソグラフィを用いた模型 の造形装置	(社)発明協会	平成15年度関東地方発明表彰 山梨県知事賞	萩原 茂	H15/11/5
安全かつ高品質味噌醸造のための 微生物学的解析とバクテリオンシ ン産生乳酸菌に関する研究	(財)山梨科学アカデミー	奨励賞	恩田 匠	H18/5/29
フォトリソグラフィとアノード酸 化を利用したAl薄膜の表面加工	(社)表面技術協会	平成20年度表面技術協会進歩 賞	勝又信行	H20/2/27
甲州種ワインの高品質化に関する 研究	全国食品関係試験研究所長会	平成19年度優良研究・指導業 績表彰	原川 守	H20/3/6
宝石の精密加工方法の考案	文部科学省	平成21年度科学技術分野の文 部科学大臣表彰創意工夫功勞 者賞	坂本正純	H21/5/27
3次元アルミニウムマスクを用い たシリコン基板の反応性イオン エッチング加工技術の開発	日本真空協会	第35回真空技術賞	勝又信行 石田正文	H22/11/5
ワイン醸造工程における炭酸ガス 使用手法の改善	文部科学省	平成24年度科学技術分野の文 部科学大臣表彰創意工夫功勞 者賞	中山忠博	H24/4/17
大型高強度溶接ペローズの開発等	(一社)溶接学会	平成23年度溶接技術普及賞	宮川和幸	H24/5/18

テーマ名	学会・協会等名	受賞名	受賞者名	受賞日
高品質な国産赤ワインの製造方法の開発	全国食品関係試験研究場所長会	平成25年度優良研究・指導業績表彰	恩田 匠	H26/2/28
山梨県固有のデザインソースの編集とアーカイブ構築	日本デザイン学会	第62回春季研究発表大会グッドプレゼンテーション賞	佐藤博紀	H27/6/25
瓶内二次発酵法によるスパークリングワイン製造についての技術情報普及および基礎的研究	日本ブドウ・ワイン学会	日本ブドウワイン学会技術賞	恩田 匠	H28/11/26
金型鋼の耐熱疲労特性評価をはじめとしたX線応力測定技術の素形材産業への展開	日本材料学会	平成28年度日本材料学会X線材料強度部門委員会業績賞	八代浩二	H29/1/27
天然素材のバナジウム媒染による機能化に関する研究	山梨県総合理工学研究機構	令和元年度Y-CROST研究奨励賞	上垣良信	H31/3/18
山梨県における県産小麦と県産パン酵母に関する研究開発とその普及	全国食品関係試験研究場所長会	令和元年度優良研究・指導業績表彰	木村英生	R2/2/13
日本のスパークリングワイン製造に関する研究	日本醸造協会	日本醸造協会技術賞	恩田 匠	R2/10/12
燃料電池に関する一連の研究とその成果の企業支援への展開	山梨県総合理工学研究機構	令和2年度Y-CROST研究奨励賞	三神武文	R3/2/5
X線材料強度部門委員会運営と活性化への貢献	日本材料学会	令和2年度日本材料学会X線材料強度部門委員会功労賞	八代浩二	R3/2/19
ワインをはじめとする県産農産物加工品の品質向上と開発	山梨県総合理工学研究機構	令和3年度Y-CROST研究奨励賞	小松正和	R4/2/14

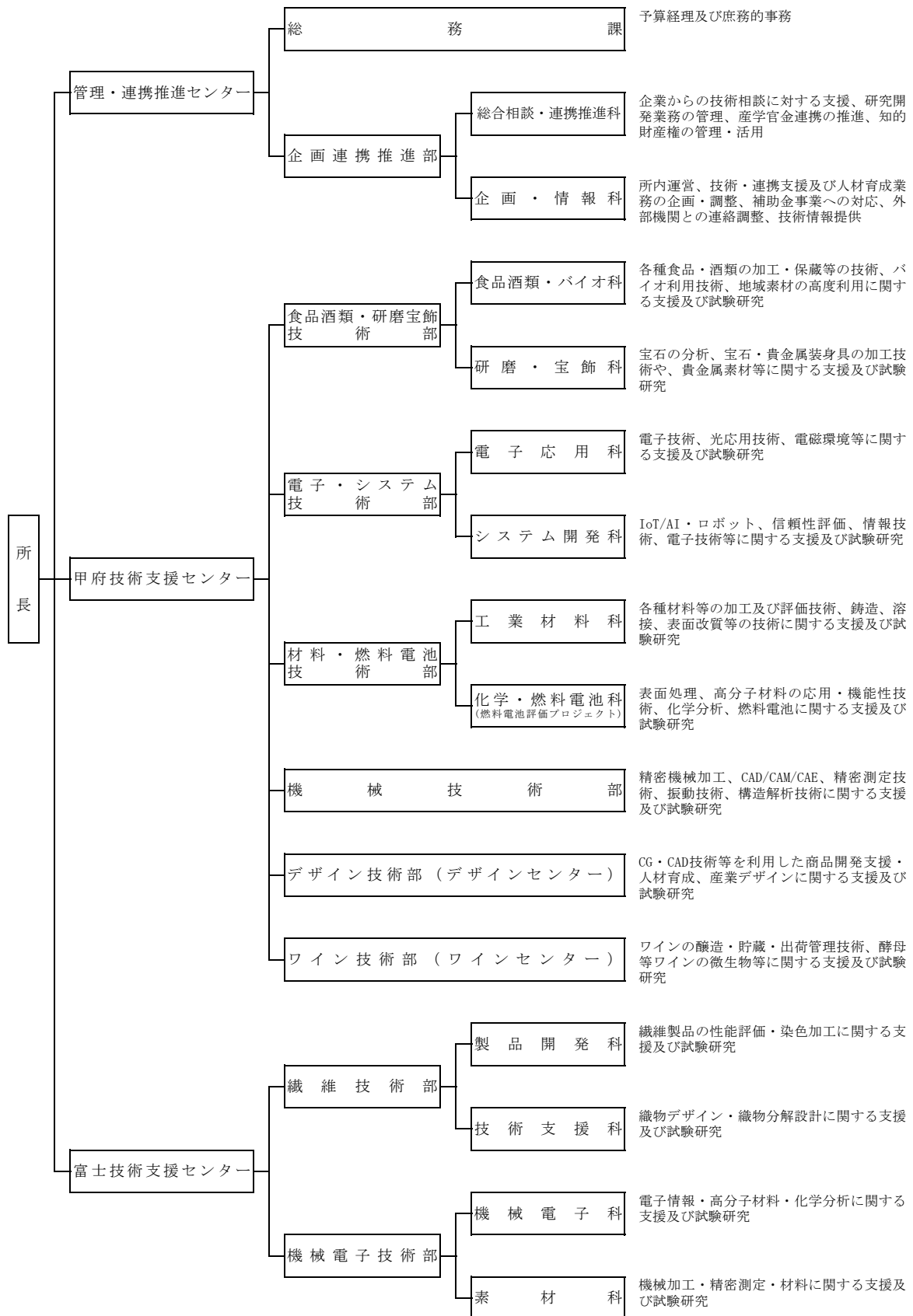
加入学会・協会等

学会名	所在地	電話番号
(一社)山梨県発明協会	山梨県甲府市大津町2192-8 アイメッセ3階	055-243-6145
(公社)日本食品科学工学会	茨城県つくば市観音台2-1-12 農研機構 食品研究部門内	029-838-7980
全国食品関係試験研究場所長会	茨城県つくば市観音台2-1-13 農研機構 食品研究部門内	029-838-8116
(公社)日本農芸化学会	東京都文京区弥生2丁目4番16号 学会センタービル2階	03-5803-9561
(公財)日本醸造協会	東京都北区滝野川2-6-30	03-3910-3853
(公社)砥粒加工学会	東京都新宿区百人町2-22-17 セラミックビル4F	03-3362-4195
宝石学会(日本)	東京都台東区上野3-20-8 小島ビル6F	03-3834-7057
(一社)繊維学会	東京都品川区上大崎3-3-9-208	03-3441-5627
(一社)日本繊維製品消費科学会	大阪府大阪市北区天満橋2-2-7-403	06-6358-1441
(一社)日本繊維機械学会	大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル内	06-6443-4691
(公社)日本木材加工技術協会	東京都文京区後楽1丁目7-12 林友ビル	03-3816-8081
(一社)日本熱処理技術協会	東京都中央区日本橋茅場町3-2-10 鉄鋼会館6階	03-6661-7167
(一社)日本非破壊検査協会	東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル10階	03-5609-4011
(一社)型技術協会	神奈川県横浜市中区太田町6-79 アブソルート横浜馬車道ビル201	045-224-6081
(一社)溶接学会	東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地 溶接会館6F	03-5825-4073
(公社)日本鑄造工学会	東京都港区芝浦4-15-33 芝浦清水ビル2F	03-6809-2303
(公社)日本金属学会	宮城県仙台市青葉区1番町1丁目14番32号	022-223-3685
(一社)表面技術協会	東京都千代田区神田岩本町4-9	03-3252-3286
(公社)高分子学会	東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル6F	03-5540-3770
(公社)日本分析化学会	東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304	03-3490-3351
(公社)精密工学会	東京都千代田区九段北1-5-9 九段誠和ビル2F	03-5226-5191
(一社)電気加工学会	東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル	03-5291-6231
(一社)日本機械学会	東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階	03-5360-3500
日本工芸技術協会	東京都渋谷区千駄ヶ谷5-2-3-402 (財)工芸財団内	03-3356-4966
ASEV 日本ブドウ・ワイン学会(アメリカ・日本)	山梨県甲府市北新1丁目13-1 山梨大学ワイン科学研究センター内	055-220-8658
(公社)日本ジュエリーデザイナー協会	東京都中央区八丁堀4-11-7 アライビル8F	03-3523-7344
(一社)日本デザイン学会	東京都杉並区西荻北3-21-15 ベルフォート西荻703	03-3301-9318
NPO法人ヒューマンインタフェース学会	京都府京都市下京区中堂寺栗田町93番地 京都リサーチパーク6号館3階	075-315-8475
(一社)日本人間工学会	東京都新宿区若葉1-10 大洋ビル4C	03-6380-6730
(一社)日本色彩学会	東京都杉並区阿佐谷南1-16-9 平野ビル3階	03-5913-7079
(公社)日本インダストリアルデザイナー協会	東京都港区六本木5-17-1 AXISビル4F	03-3587-6391
日本感性工学会	東京都中央区日本橋浜町2-55-5 グランドハイツ1003	03-3666-8000
(公財)日本デザイン振興会	東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー5F	03-6743-3772
(一社)KEC関西電子工業振興センター	京都府相楽郡精華町光台3-2-2	0774-93-4563
(公社)日本化学会	東京都千代田区神田駿河台1-5	03-3292-6161
(一社)プラスチック成形加工学会	東京都品川区大崎5-8-5 グリーンプラザ五反田第2 205号室	03-5436-3822
(一社)情報処理学会	東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F	03-3518-8370
(公社)応用物理学会	東京都文京区根津1-21-5 応物会館	03-3828-7722
(一社)電気学会	東京都千代田区五番町6-2 HOMAT HORIZONビル8階	03-3221-7312
(一社)レーザ加工学会	大阪府茨木市美穂ヶ丘11-1 大阪大学 接合科学研究所	06-6879-8642
(一社)芸術科学会	東京都文京区大塚2-1-1 お茶の水女子大学 理学部情報科学科	-

(令和4年3月31日現在)

付-1 組織と業務

(令和4年4月1日現在)



付-2 職員名簿

(令和4年4月1日現在)

所長 内藤裕利	[研磨・宝飾科]	デザイン技術部
管理・連携推進センター	主任研究員 宮川和博	部長 金丸勝彦
センター長(兼2) 清野浩	専門員 佐野照雄	主任研究員 串田賢一
特別研究員 岩間貴司	研究員 佐藤貴裕	主任研究員 鈴木文晃
特別研究員(兼1) 河西伸一	会計年度任用職員 山本季彦	研究員 佐藤博紀
研究管理幹 高尾清利	会計年度任用職員 鶴田裕太	会計年度任用職員 数野真裕美
特別職非常勤 大丸明正	電子・システム技術部	会計年度任用職員 岡治美
総務課	部長 河野裕	ワイン技術部
課長(事務取扱) 清野浩	[電子応用科]	主幹研究員・部長 恩田匠
主査(兼1) 矢野貴士	主任研究員 清水章良	主任研究員 木村英生
副主査 阿部純	研究員 中村卓	研究員 佐藤憲亮
専門員 若林貴義	技師 富永裕輝	会計年度任用職員 三科浩仁
主任 杉野巧	会計年度任用職員 和光順子	会計年度任用職員 窪田守
会計年度任用職員 流石由香理	[システム開発科]	富士技術支援センター
会計年度任用職員 飯田恵子	主任研究員 布施嘉裕	センター長 萩原茂
会計年度任用職員 中村澄香	専門員 阿部正人	副センター長 柴田克己
企画連携推進部	研究員 永田靖貴	繊維技術部
主幹研究員・部長 山田博之	研究員 中込広幸	主幹研究員・部長 渡辺誠
[総合相談・連携推進科]	技師 保坂響	[製品開発科]
主任研究員 三井由香里	材料・燃料電池技術部	主幹研究員 望月威夫
主任研究員(兼2) 上垣良信	主幹研究員・部長 八代浩二	主任研究員(兼2) 上垣良信
研究員(兼2) 林善永	[工業材料科]	主任研究員 尾形正岐
[企画・情報科]	主幹研究員 阿部治	専門員(兼2) 若林貴義
主任研究員 宮本博永	主任研究員 石田正文	研究員 塩澤佑一朗
主任研究員 宮川理恵	主任研究員 鈴木大介	会計年度任用職員 渡邊直子
主任研究員 上垣良信	研究員 長田和真	会計年度任用職員(兼2) 流石由香理
研究員 林善永	[化学・燃料電池科]	[技術支援科]
会計年度任用職員 望月美菜	主任研究員 三神武文	主幹研究員 五十嵐哲也
甲府技術支援センター	主任研究員 小松正和	主任研究員 秋本梨恵
センター長 清野浩	主任研究員 芦澤里樹	会計年度任用職員 勝俣久美
副センター長 吉村千秋	研究員 宮澤航平	会計年度任用職員 高山美和
食品酒類・研磨宝飾技術部	(燃料電池評価プロジェクト)	機械電子技術部
主幹研究員・部長 有泉直子	研究員 川本鉄平	主幹研究員・部長 中村聖名
[食品酒類・バイオ科]	研究員 小林誉	[機械電子科]
主任研究員 長沼孝多	会計年度任用職員 加賀爪広	主幹研究員 勝又信行
主任研究員 尾形美貴	会計年度任用職員 穴水弘一	研究員 古屋雅章
主任研究員 橋本卓也	会計年度任用職員 平賀庸子	技師 渡邊慧輔
研究員 小嶋匡人	会計年度任用職員 丸山知子	[素材料]
研究員 樋口かよ	機械技術部	主任研究員 萩原義人
	主幹研究員・部長 佐野正明	主任研究員 寺澤章裕
	主幹研究員 石黒輝雄	研究員 望月陽介
	主任研究員 西村通喜	
	主任研究員 小松利安	
	主任研究員 早川亮	
	主任研究員 米山陽	
	研究員 坂本智明	
	会計年度任用職員 神澤隆彦	

(兼1)：総合理工学研究機構と兼務

(兼2)：所内兼務

付-3 職員配置

(令和4年4月1日現在)

	行政職							研究職										会計年度任用職員	合計						
	所長	センター長	副センター長	課長	主任査査員	副主任査査員	専門員	センター長	副センター長	特別研究員	研究管理幹	特別職非常勤	主幹研究員・部長	部長	主幹研究員	主任研究員	専門員			研究員	技師				
山梨県産業技術センター	1																						1		
管理・連携推進センター		(1) ²								1(1) ¹	1	1											3	(2)	
総務課				(1) ²	(1) ¹	1	1	1															3	6	(2)
企画連携推進部													1											1	
総合相談・連携推進科															1(1) ²		(1) ²							1	(2)
企画・情報科															3		1						1	5	
甲府技術支援センター		1								1														2	
食品酒類・研磨宝飾技術部													1											1	
食品酒類・バイオ科															3		2							5	
研磨・宝飾科															1	1	1						2	5	
電子・システム技術部														1										1	
電子応用科																1		1	1	1	1		1	4	
システム開発科																1	1	2	1					5	
材料・燃料電池技術部													1											1	
工業材料科															1	2		1						4	
化学・燃料電池科																3		1						4	
(燃料電池評価プロジェクト)																		2					4	6	
機械技術部													1		1	4	1					1	1	8	
デザイン技術部														1		2		1					2	6	
ワイン技術部													1			1		1					2	5	
富士技術支援センター			1						1															2	
繊維技術部													1											1	
製品開発科							(1) ²								1	1(1) ²		1				1(1) ²	4	(3)	
技術支援科															1	1							2	4	
機械電子技術部													1											1	
機械電子科															1			1	1					3	
素材科																2		1						3	
合計	1	1	1	(1) ²	(1) ¹	1	1	1	1	1	1	1	7	2	5	26	2	17	3	19	92	(1) ²	(9)		

(括弧)¹: 総合理工学研究機構と兼職

(括弧)²: 所内兼務

付-4 令和4年度予算

(令和4年4月1日現在)

区分	予算額 (単位：千円)	備考
技術支援 ・機器整備((公財)JKAによる補助事業) ・保有機器の保守・校正・修繕 ・やまなしテキスタイルブランド確立強化支援事業	86,962	
研究開発 ・経常研究 ・総理研研究 ・競争的資金研究 ・客員研究員事業費 ・成長戦略研究 ・受託研究 ・技術情報取得	45,744	
人材育成 ・ものづくり人材育成研修 ・講習会	3,450	
情報提供 ・研究報告、研究成果速報、年報、業務報告、 センターニュース、デザイン情報誌の発行	1,341	
技術移転・事業化支援 ・フォローアップ、企業ニーズ対応試作開発	1,500	
職員職務発明特許出願費 ・特許等出願費、維持管理費	1,338	
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 ・電波暗室整備事業	214,676	事業期間 R4
地方創生推進交付金事業 ・県産ワイン・日本酒品質強化支援事業 ・やまなしものづくり企業DX推進事業	39,758	事業期間 R4～R6
高度技術開発棟移設事業費	151,306	事業期間 R2～R4
燃料電池評価解析技術高度化事業	64,410	事業期間 R2～R6
その他 管理費等(会計年度任用職員等人件費、庁舎管理費 等)	230,642	
計	841,127	

※正規職員人件費を除く

2022

令和3年度年報

発行日 令和4年7月1日

発行 山梨県産業技術センター

〒400-0055
山梨県甲府市大津町2094
Tel 055-243-6111
Fax 055-243-6110

印刷 (株)少國民社

〒400-0851
山梨県甲府市住吉1-13-1
Tel 055-226-2125
Fax 055-231-2100

